

# 野営の

てびき



# 1. スカウト・キャンプ

## 1) キャンプの歴史

- ・・原始時代は生活そのものがキャンプであった。(古代)
- ・・民族移動等の一定住としてのキャンプ。(古代)
- ・・軍隊活動の基地としてのキャンプ。(中世・近世)
- ・・レクリエーション、教育プログラムとしてのキャンプ  
(現代)

私たちの祖先は、寒さや暑さから身を守るために、洞穴に住んだり、住いの周囲を囲ったりして暮していました。彼らは、動物を殺し、その肉を食べ、骨を  
利用し、皮をはいで身につけ、また、皮をつなぎ合わせて着物をつくったり、皮で、持ち運びのできる「覆い」をつくったりしました。



そして、動物を殺すだけでなく、生捕りにして飼育する方法を考え、自分たちの生活に役立たせることを覚えました。また、彼らは住居の近くに食糧がなくなると、住居となっていた天幕をたたんで、他の場所へ移動しながら生活し、遊牧民と呼ばれました。

また、これらの人々は、石と石を打ち合せると火が起こる石を発見したり、木と木をこすり合わせて火を起こしていました。

そして、ある人々は、火や動物だけに頼らず、みずから食糧を得るために、いろいろな労働の方法を発見し、その労働を容易にするためにさまざまな用具をつくりました。

これらの祖先は、素晴らしいキャンパーだったと言えます。

アメリカの原住民であるインディアンは、すべての点において優れたキャンパーであったと言われています。西部では、支柱を縦に並べて円錐形をつくり、

バッファローの皮を使って、

テッピーという住居を作っ

て生活していました。わが

国においても、静岡県

の登呂遺跡の住居や、全国各地

に点在する洞窟住居の跡か

ら、木工細工の素朴な生活

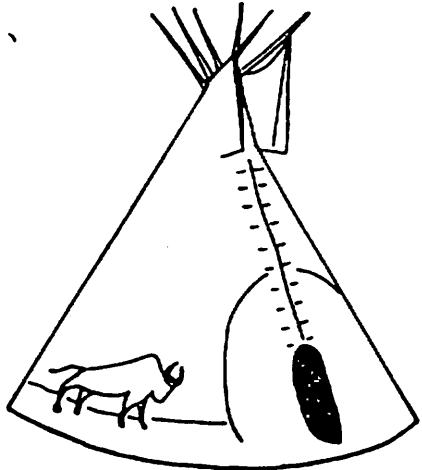
用具、住居、食物の保存方法など、われわれの時代のキャンパーが学びたい数多くのものが発見されています。

キャンプはこのように祖先の生活の歴史であると言えます。

そこで、キャンプを有意義に行なうためには、昔の生活習慣や伝説、用具の使用法、教訓なども学ぶ必要があります。

さらに、昔の偉大なキャンパーは、もう一つ優れた考え方を

持っていました。食糧にしても、衣服や家をつくる材料に関して



も、必要以上に取りなかつたことです。そのため自然が破壊されることなく、彼らと自然は一体となつて、調和していたと考えられます。これもぜひ学びたいことです。つまり、キャンプは「先人の生活から、自然の接し方を学ぶ」ことにあると言えます。

近代文明は、生産性の向上のために、次々と自然を破壊してきました。気の遠くなるような年月を経て作られた原生林も、またたく間に伐採され、植物を奪われた動物たちは、次々と生活の場を追われました。あるものは、人々に危害を与えるという理由で大量に殺されてしまうことさえありました。川は、洪水防止のために、護岸工事が進められ、工業化のために、田畑は埋められました。上流では、木々が切られたために、一時に大量の水が出るという理由で、ダムが建設されましたが、自然に環ることの出来ない水は、ダムを埋め、新しい型の都市型洪水を起こしています。

こう考えてみると、いま、私たちが、行なわなければならないのは、自然の仕組みを理解し、いかに自然とつき合っていくかということです。

さて、キャンプという言葉調べると、「野営する」「テント生活をする」「仲間」などの意味がかります。キャンプ自体自然の中で行なう、共同生活ととらえることができますので、教育的側面から：自然という環境と共同生活（集団生活）とい

う場面の特性を十分に考えて活動することが、当然必要である  
とすることができます。

## 2) スカウト・キャンプの意義

ボーイスカウト活動の中で、キャンプは最大の冒険である。  
大自然の中での歓喜にみちたキャンプ生活は、スカウトに、  
無意識のうちに自然の偉大さを体得させ、生きる喜びと新しい  
希望を与える。大自然の神秘や自然の景物を目のあたりに触れ  
ることによって、スカウトにとって自分自身の存在を内面的に

考察する絶好の機会ともなり、スカウト

の信仰心を養い、良き社会人を作り出す

動機づけをすることができる。さらに、

自然の中での生活は、物質文明から離れ

て、原始社会にお  
けるような、食物  
と安らぎを求めよ  
うとする作業のう  
ちに、自発的に開  
拓者、冒険者とし  
ての有用な技術と  
知識と独立心と創  
造力を少年たちに



学びとらせていく。キャンプを通じて、指導者とスカウトは、深い信頼と理解に結ばれ、班の共同生活は、指導性と責任感と友情とを培い、お互に忘れえない思い出として心に焼きつけられる。

しかしながら、スカウト・キャンプは、単なるレクリエーション、楽しい休日でとどまるものではなく、それ以上のものである。

B-1のつぎの言葉を忘れないようにしましょう。

「スカウト・キャンプは、隊長にとって真のスカウティングを実際にスカウト達に行わせる絶好の機会である。スカウト訓練という立場からすると、大規模なキャンプより小規模なものがよい。理想的なスカウト・キャンプは、すべてが班制のもとに運営され、各班は別個の単位であり、それぞれの領域をもち、班ごとに炊事をし、他に頼らない。」

つまり、スカウト・キャンプは、班制度のもとで運営される。スカウトは、独自のリーダーシップを持った班に属し、その中で班の一員として分担した役割を果す。

ところで、スカウト・キャンプは、スカウティングの目的ではなく少年を、スカウティングの目標である、よりよい市民に育てあげるための最良の方法である。その運営にあたる指導者が、その方法を正しく理解し、その目的に向っての計画と実行が伴って、初めて教育の効果をあげることができる。すべての

スカウトにキャンプに参加する機会が与えられるように配慮されなければならない。

### 3) スカウト・キャンプの種類

○..キャンプの目的によって、いろいろなキャンプがある。

班キャンプ      隊キャンプ      単独キャンプ

ジャンボリー      ジャンボレット      キャンボリー

アグーナリー

スカウト・キャンプは、構成の単位からみれば班キャンプ、隊キャンプ、単独のキャンプ、地区、県連盟などのキャンボリー、日本連盟、各国連盟主催のジャンボリー等がある。また、訓練方法からみれば、ノ泊キャンプ、長期キャンプ、固定キャンプ、移動キャンプ、ワークキャンプ等がある。

移動を伴うベンチャーキャンプおよび奉仕を中心としたワークキャンプ等は、シニア隊以上に限られるべきである。

#### (1) 班キャンプ

班は、スカウト活動の基礎となる活動単位である。スカウティングの基本的なプログラムは、すべて班において実施される。したがって、班キャンプは、大いに奨励される。通常、班キャンプは、短い日時で、団本部から比較的近い地域で行われるものである。

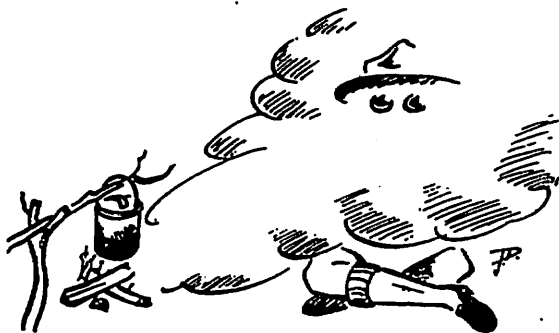
(地域によって差があるのは当然である)

## (2) 隊キャンプ

1年の教育の総仕上げとして、通常隊キャンプは、夏季に長期にわたって行われる。隊キャンプは隊長にとって、一日中たえまなく少年達と触れあい、少年達を知るいちばんよい機会となる。

## (3) 単独キャンプ

スカウトは、自ら研さんのため、単独キャンプをすることがある。



## (4) ジャンボリー (Jamboree)

ボーイスカウトの野営大会で、ひとつの国または地域的・国際的・世界的規模で開かれるものをいう。

人種・宗教・言語・習慣の違いを越えて、ひろくスカウトの交流を深める。

## (5) ジャンボレット (Jamborette)

ジャンボリーより小さな規模のもので、国際的または地域的・国際的なスカウトの野営。

## (6) キャンボリー (Camporee)

地区かるいは県連盟・地方の規模で開かれるスカウトの



野営大会をいう。カブの大会は通常ラリーと称している。

(7) アグーンナリー (Agoonoree)

/ 国あるいは数か国の障害スカウトが集まって開く行事。

単にアグーンということもある。

○・スカウト・キャンプの規則

- ・キャンプは、その条件の中で最高のキャンプを実施する。
- ・すべてのキャンプは、団委員会を中心として、すべてのリーダーの責任において行う。
- ・健康と安全の確保
- ・自然保護

ボーイスカウト日本連盟のキャンピングの一般方針

- 1, 隊キャンプ、班キャンプ、その他いかなる形態のキャンピングにおいても、常にスカウト・キャンピングの最高の理想的方法がとられなければならない。
- 2, 年間計画において、キャンプの経験をすべてのスカウトに与えるよう配慮することは、団委員会の責任である。
- 3, キャンピングプログラムに適した十分なキャンプサイトの確保に、各県連盟は努力する。
- 4, すべての野外活動において、安全の確保に最善の努力が払われなければならない。
- 5, すべてのスカウトおよび指導者は、わが国の自然—森林、

河川、土壌、海洋、動物、植物の保護に最善の努力をつくす。

## キャンピングの計画と準備

### 1. 計画と準備

#### 1) 計画

キャンプの種類、規模によって、計画や準備はそれぞれちがってきます。

班キャンプでも隊キャンプでもその目的をはっきり定めて、互いに班会議や班長会議などで十分に話し合い、キャンピングの計画を決めます。

計画が決まったら、キャンプまでの日程表を作り、調査や準備訓練を十分にします。備品の整備や、調達も早めに行うため、それぞれ分担を決めて活動を開始します。



#### 2) 準備

班長会議で計画がまとまったら、班集会、班長訓練、隊集会

などのあらゆる機会を通じて、事前準備を行います。

事前準備では、次のようなことを訓練します。

- (1) キャンプ用具の整備と取り扱い方
- (2) 個人携行品とその使い方
- (3) リュックサックのつめ方、背負い方
- (4) 荷造りの方法
- (5) テントの整備、張り方、たたみ方
- (6) グランドシート、毛布などの正しい使い方
- (7) 野外料理の作り方、かまどと炊事場の作り方
- (8) ごみ、汚水の処理法
- (9) 便所の作り方と使い方
- (10) 自分の健康管理 (医師による健康診断を受ける)

また、事前に、健康安全、救急、結索、野外料理などの特修章課目にある技能の訓練を行い、キャンプ地では、すぐに使えるようにしておくことが大切です。

これらの事前訓練は、進歩課目の達成をはかる一番よい機会ともなります。

### 3) キャンプ地の選び方

キャンプを楽しくより効果的に実施するためには、よいキャンプ地を選ぶことが大切です。

## キャンプ地を選ぶためのヒント

理想的なキャンプを実施するためには、キャンプ地選びが大切です。キャンプ地を選ぶに当たっては、次の条件を考慮に入れて選定してください。

(1) 飲料水があり、水質がよい

(2) 燃料が十分得られる

(3) 地形はゆるやかで  
水はけがよい

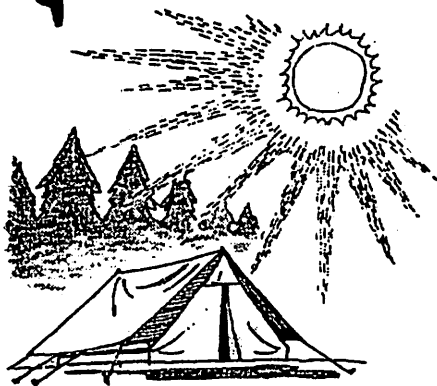
(4) 日当たりがよく、強  
風や、落石による危  
や、毒害虫がいない



(5) 食糧、なるべく新  
鮮なものが調達でき  
る

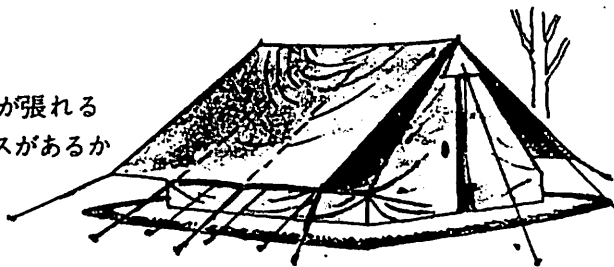
(6) 有害な動植物や、  
昆虫がいない

(7) 他人の出入りのほ  
げしくない静かな場  
所である

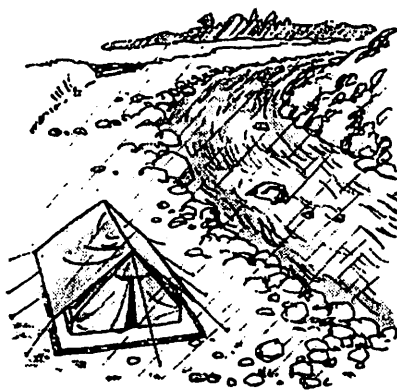


以上のような条件をキャンプの目的、規模、プログラムに合わせて選ぶことが大切です。

テントが張れる  
スペースがあるか



雨による  
増水の心配はないか



自然環境はどうか





### (1) リュックサック

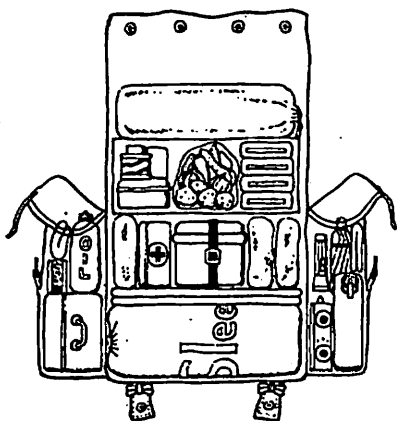
キャンプのときは、リュックサックが一番よいでしょう。  
いつも両手をあけておくことが大切です。

キスリング型のものは、だいたい帆布製ですから丈夫です。

### (2) リュックサックのつめ方と背負い方

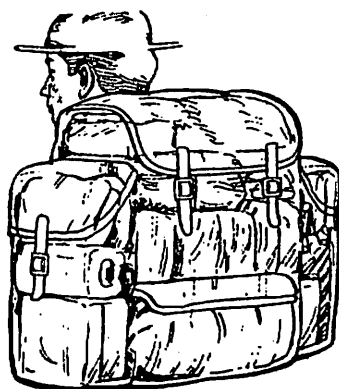
なかに何をどう入れるかが問題です。

新入スカウトは、不必要な物まで持っていくことが多いので、班長の指導が必要です。必要最少限のものを持つように指導してください。



種類別に袋に入れておき、重心が上にくるようにリュックサックへつめる。

うまく詰められていると、疲れも少なく、みかけがよい。



せっかく詰めたリュックサックも、正しく背負わなくてはただ重だけです。

リュックサックの、どこに重心をおくかが問題です。

(上のほうに重い物を詰めて、重心を上におく)



## 2) 班携行品

班用具は、キャンプの規模や日程、人数などによってちがってきます。班キャンプをするときは、どのくらいの用具が必要かを考えてみよう。チェックリストで、十分に点検しておきます。





### 3. 事前の調査と関係機関への届出

キャンプの候補地が決まったら、まず現地の下見に行きます。  
現地の下見で注意することは次のとおりです。

- (1) 最悪の天候のときでも安全か。
- (2) キャンプ地を選ぶヒントの内、どのくらい条件を満たしているか？
- (3) 有害な昆虫、動植物の有無、資材運搬や食料調達の便などについてどうか？
- (4) 同じ時期に、他の人たちが同じ土地を使うか？
- (5) 土地所有者の許可が得られるか？
- (6) 商店、医院、郵便局、警察署、役場などを確めて届出や事前の連絡方法についても調査しておく。
- (7) 役場の人や、近くの農家の人などから話や意見を聞いてそれを参考にする。
- (8) 鉄道、バスなどの交通機関の時刻表も忘れずに調査する。

以上の調査が終って、候補地が正式に決定したら、キャンプの計画書を作り、隊長の承認を受けて、団を通じて関係機関へ届出をします。

- (1) 土地所有者への使用許可願いをだす。
- (2) 必要があれば、医院、役場、警察署、消防署、営林署等へ連絡し届出をだす。
- (3) キャンプ地が県外の場合は、県外旅行紹介状の交付をう

けて、そのキャンプ地の所在する県連盟に必ず連絡する。

- (4) 計画書は保護者にも渡し、心配をかけないことが大切です。

## 設 営

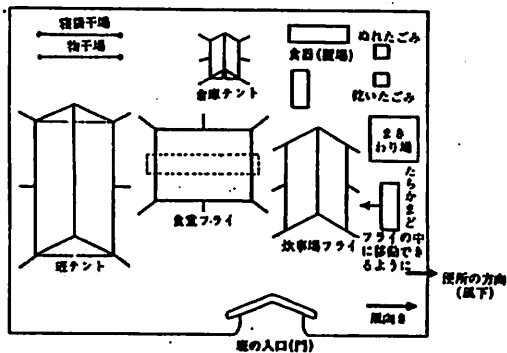
### 1. キャンプサイトのレイアウト

設営を始める前に、キャンプサイトのレイアウトについて考えなければなりません。

レイアウトを考えるにあたっては、地形、風向き、日照などをよく考えたうえで創意工夫した計画、設計をするとよいでしょう。

〔注意として〕

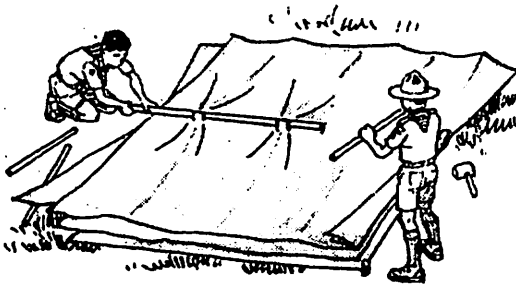
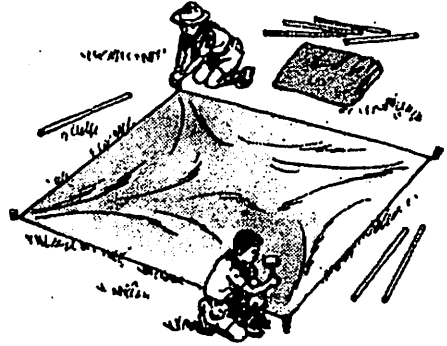
- (1) 班は独立した別々のサイトをもち、お互いの班が近づき過ぎないようにする。
- (2) 班ごとに炊事場をもつ。
- (3) 便所、ごみ焼き場は、風下に作る。
- (4) 倉庫テントは、できれば日かげがよい。



## 2. テントの張り方

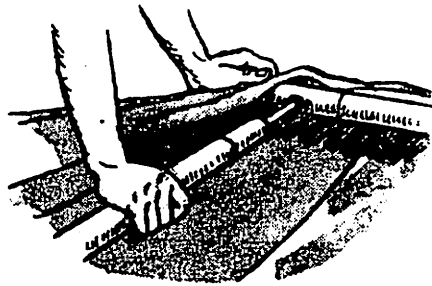
レイアウトが決まったら、分担を決めてから設営にかかります。

袋から部品を取り出し員数を調べ、まず、グランドシートを広げてみて、四隅の位置を定めてペグを打ちます。雨の日には、グランドシートはテントが立ちあがってから敷きます。

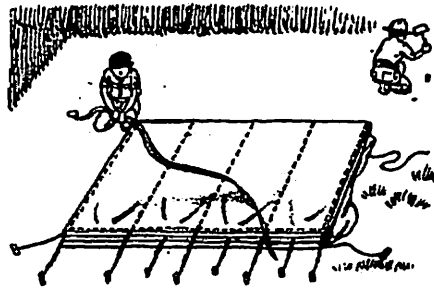


支柱をつなぎ、テントの骨組みをしっかり組立てます。

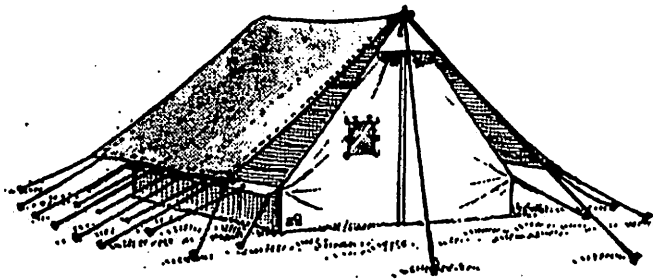
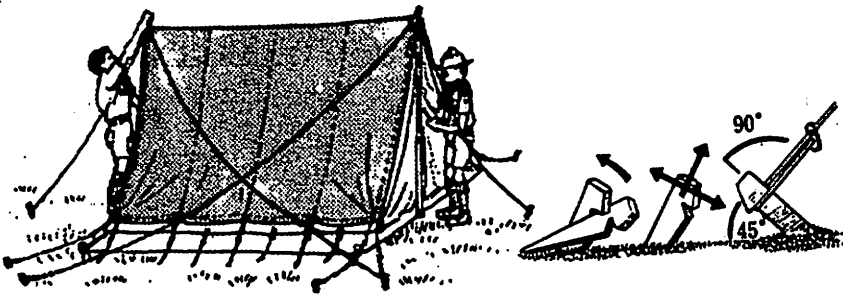
支柱とテントのむねをつなぎ、組立てます。



親綱や、角綱、腰綱用の  
ペグをあらかじめ位置  
を定めて打っておきます。

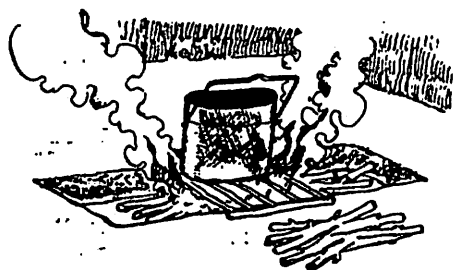


いよいよ立ちあがりです。親綱、角綱、腰綱など、手ぎわよく  
くとめて、上手に張ります。決して強く引っぱったりしないよ  
うに。できあがったら、ペグは正しい位置に打たれているか？  
綱は正しく張られているか点検し、必要に応じて修正します。



### 3. 野外炊事場作り

#### 1) かまどのいろいろ

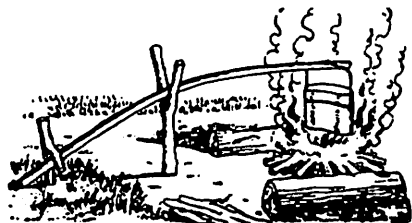


一番やさしいかまどは、ただ穴を掘っただけのものです。

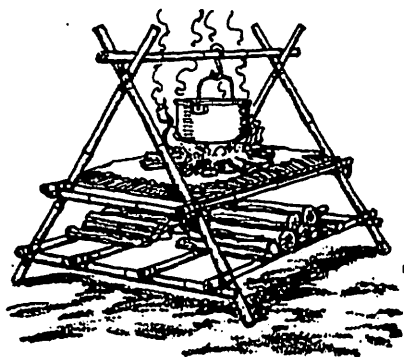
風向きを考えて穴を掘ります。

クレーンをヒントにしたかまどです。

ただし、吊っている棒は、注意しないと折れることがある。



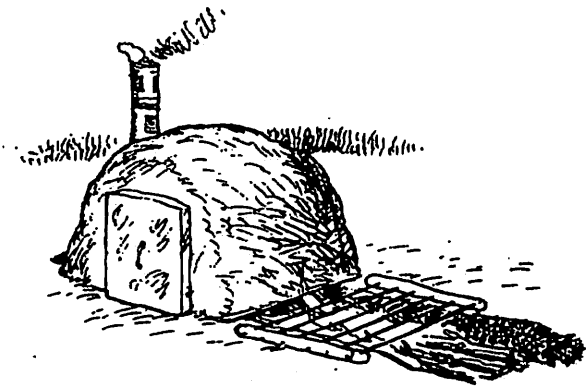
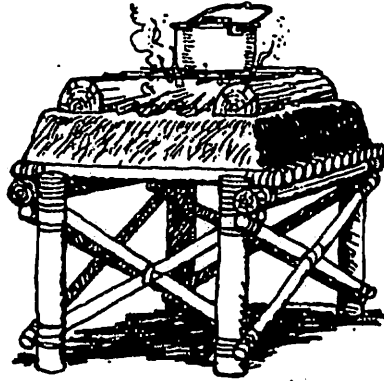
立ちかまどは長期固定キャンプのときに多く使用されます。



丸太があれば、切って立ちかまどを作るのもおもしろいものです。

土をのせないで、かまどの台が燃えてしまいます。

※かならず土を盛る

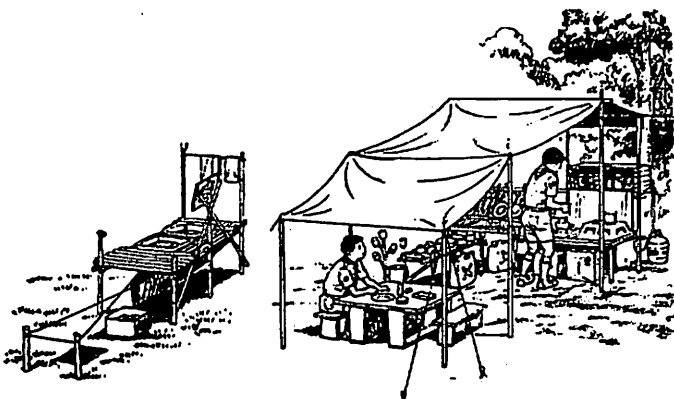


石油かん（または、ドラムかん）を利用したオーブン。ここまで作ればキャンプの料理も楽しくなります。

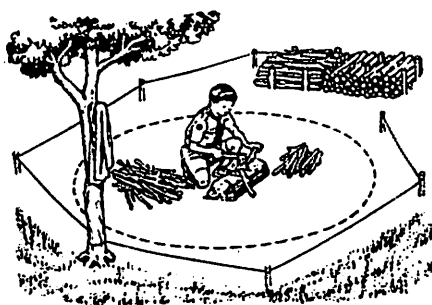
#### 4. 炊事場と食堂

炊事場と食堂を作るときは、まずレイアウトをよく考えよう。

食器の洗い場は、なるべく日当りのよい乾燥できるところがよいでしょう。



#### 5. 薪置き場と薪割り場

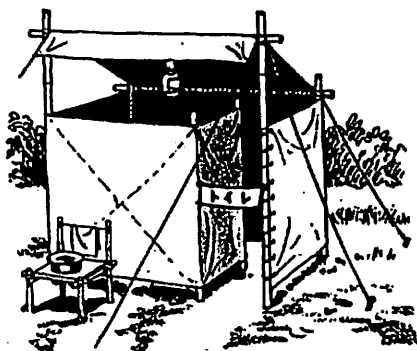
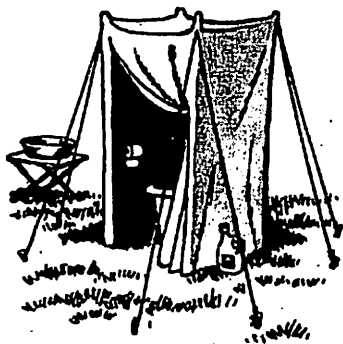


いつでも整理整頓とんされていなければなりません。

薪割り場は危険なので広く、そして、まわりに障害物がないところを選びます。(特に薪割りの作業については安全第一です)

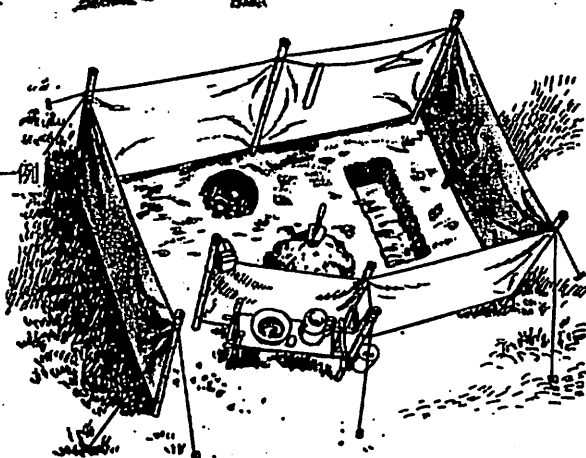
## 6. 野外のトイレ作り

トイレを作るときに一番大切なことは、トイレの位置です。班テントから風下になるところで、なるべく離れていて、人目につかないようなところに作ります。



こうして屋根を作っておくと雨のとき便利です。

上から見た野外便所の一例





## キャンプ生活

キャンプは、起床、洗面、食事、点検、朝礼、作業、就寝などが規則正しく行われるよう、日課を決めます。/泊のキャンプでも計画の中に起床時間とか食事の時間、就寝時間などは事前にきちんと決めておきます。

ここに、夏の班キャンプの標準日課表の一例を示します。プログラムを作るときの参考にしてください。

### 夏の班キャンプ標準日課表

6:00	起床・洗面・朝食・後片付け・清掃・整頓 乾燥
8:00	点検・講評・朝礼・国旗掲揚
9:00	午前のプログラム
11:30	昼食・自由時間
13:30	午後のプログラム
17:30	プログラム終了
18:00	国旗降納・夕食・班作業
19:30	夜のプログラム
20:30	プログラム終了
21:30	消灯・就寝

## 1) テント

いつも自分のキャンプサイトは、きれいに整理整頓を忘れないようにしましょう。

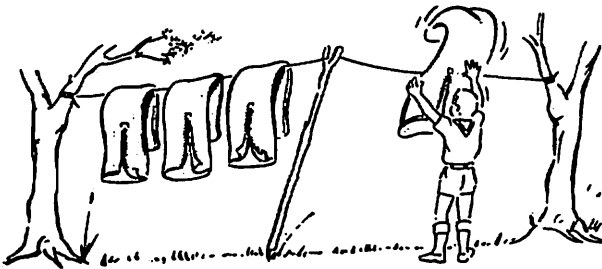
自分のものを並べるときは、きちんとします。

天気のよい日は、自分の持ち物を外に出して、よく乾燥させることが大切です。

テントの中もよく乾燥させよう。



宿泊テント



倉庫テント



食料などは、倉庫テントを別に立てて管理します。

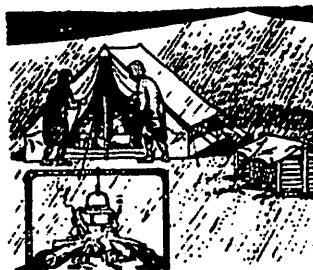
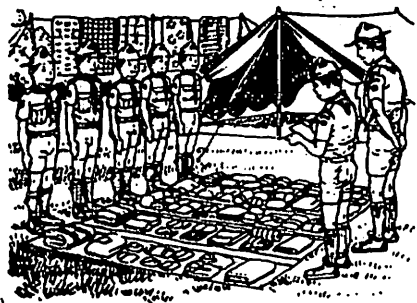
## 2) 点 検

いつでもみんな力を合わせて、班サイトの中をきれいにします。心がけ次第では、常に清潔で快適なキャンプ生活ができるものです。

点検の前には。テント、炊事場、食堂、便所なども分担してきれいにしておきます。

### ○・晴天の点検

朝の点検はきびしいものです。自分の持物を整理し、きちんと並べます。服装も正装できちんとします。



### ○・雨の日の点検

雨の朝は、テントの中や、食堂などをきれいに整頓し、点検を受けます。薪がぬれないよう、とくに気をつけましょう。

### ○・夜の点検

寝る前に、自分の体が十分に休まるよう、翌日起きた時あわてないように整理しておきましょう。



### 3) 水

キャンプでは、とくに水は大切です。よい水を得るために十分にキャンプの前に、調査しておくことが大切です。とくに飲料水に適した水を探すことは、最初にする仕事です。もし、少しでも水質が悪いときには、ろ過してよい水に変えます。キャンプ地では、生水は飲まないで必ず煮沸して飲用します。

### 4) 野外料理

(野外料理の作り方は「野外料理の項を参照)

キャンプでは、自分たちで作る料理は本当に楽しいものです。いろいろ工夫されたメニュー（献立）にしたがって、焼いたり、煮たり、油であげたりすることをみんなで体験できるのもキャンプだからこそです。晴れた日でも、雨の日でも、野外で料理ができる喜びをあじわってください。

#### ○・・野外料理のひけつ

- (1) おいしくて、簡単に料理ができるもの
- (2) カロリーが高く、栄養のバランスがとれたもの
- (3) くさりにくいもの
- (4) 同じ材料でも調理の方法で変化のつけられるもの
- (5) 包装がかさばらず、目方も軽く、持ち歩いても腐敗しないようなもの。
- (6) 長く保存できるもの

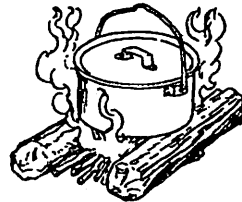
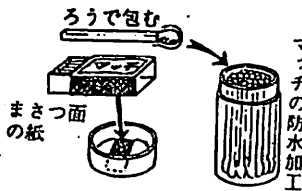
(7) 調達が簡単でむだのないもの

(8) 固型スープやみそ汁の素、ジュースの素などの利用

(9) 非常食品を忘れないように

### 〇〇火の取り扱い

キャンプでは、火を取り扱うことがたくさんあります。火の起こし方から、後しまつのしかたまでをよく心得ておきましょう。



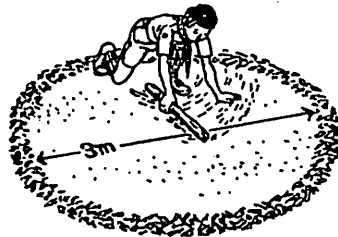
簡単なかまど



火を燃やすときは、半径3m以内から燃えやすいものをとりのぞく



火を使い終わったら、確実に消す。水をかけたり、土をかぶせた後でよく確認する



## ○・献立

献立は、全体のバランスや、プログラムを考えて決めます。朝食はできるだけ簡単に、昼食は、ハイキングなど移動することを考えて、携行できるものにします。夕食は豪華な献立を考えましょう。

献立を立てるとき、次のことを考えましょう。

- (1) 期間中、同じ献立であきないように、また、栄養的にかたよったり、不足のないように、材料や調理方法に変化をつけるよう工夫します。
- (2) 悪天候、プログラムの変更、食糧調達状況などに合わせて、即応できるように、融通性をもたせておきます。
- (3) 非常の時や、急を要するときの食料を用意しておきます。

以上のことを注意して、料理名が決まったら、早速材料表を作ります。キャンプでは、/日のカロリーは、3,000 カロリーを目安にするとよいでしょう。また、/日のたんぱく質、脂肪、糖質などの必要量のバランスは、次の表が一つの目安です。

血や肉になるもの 赤の食品	働く力になるもの 黄の食品	体の調子をととのえるもの 緑の食品
魚 類 } 肉 類 } 180g 大 豆 } 牛 乳 } 卵 } 60g	米 麦 類 540g い も 類 120g 砂 糖 類 25g 油 30g	有 色 野 菜 180g そ の 他 野 菜 } 果 物 } 240g

〈献立の一例〉 3泊4日

	朝	昼	間食	夜
第 1 日		食パン バター・ジャム類 トマトジュース いり卵 (ソーセージ, 卵)	フルーツみつ豆 (みかん, パイ) (缶, みつめ缶)	カレーライス (かに缶, 玉ねぎ, じゃがいも, クレー粉) らっきょう 紅しょうが マカロニサラダ (マカロニ, 野菜, マヨネーズ)
第 2 日	ご飯 みそ汁 (油あげ, 玉ねぎ) 漬物 (きゅうり, キャベツ・夜漬)	五目めし (しいたけ, 干しえび, グリンピース) 福神漬	牛乳 ドーナツ または クラッカー	ご飯 野菜油いため さつま汁 (肉, みそ, 野菜) 漬物 (ザー菜)
第 3 日	ご飯 みそ汁 (わかめ) たらこ 納豆	サンドイッチ (さけ缶, きゅうり, チーズ, マヨネーズ) コンソメスープ (固型スープ)	ゆであずき	ご飯 アルミはく焼 (肉または魚, 野菜) すまし汁 (しいたけ, とろろこんぶ)
第 4 日	ご飯 みそ汁 (ねぎ) のり 酢の物 (しらす干, わかめ)	焼飯 (ハム, 玉ねぎ, グリンピース) スープ(中華風) (豚肉, 卵)		

これらを参考にして自分で工夫して、1泊2日や3泊4日の献立などを作ってみると楽しいものです。

## 5) 後片付けと食糧の保存

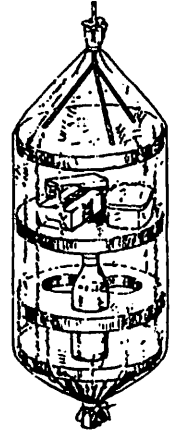
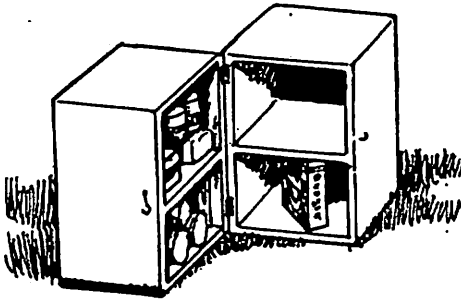
炊事当番は、分担をきめて後片付けをします。使った食器や、はんごうなどは、ていねいに、きれいに洗います。夜までほうっておいて、後で洗うようなことはしないようにします。



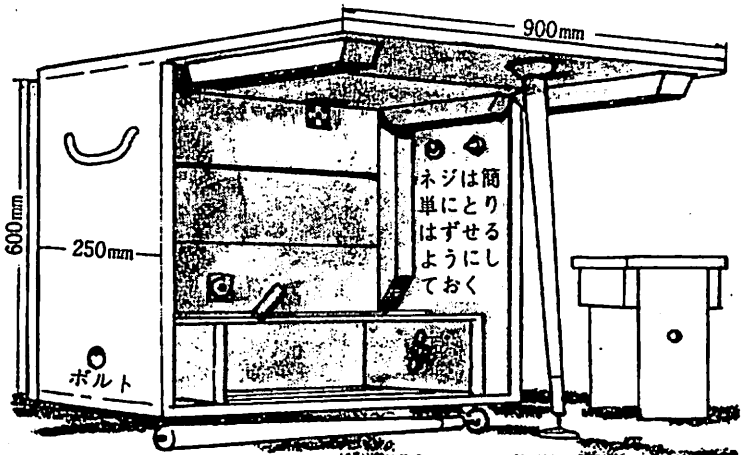


食料の保存は、注意深く、ていねいにします。

保存する容器、箱なども工夫するとよいものができます。



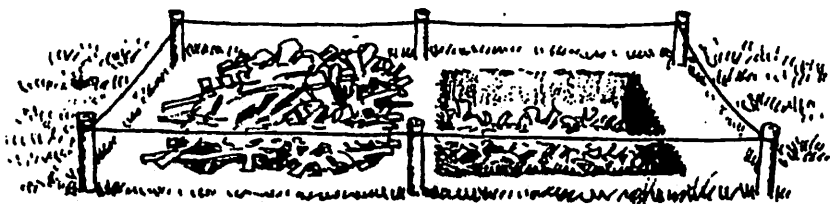
風とおしのよい布でおおう



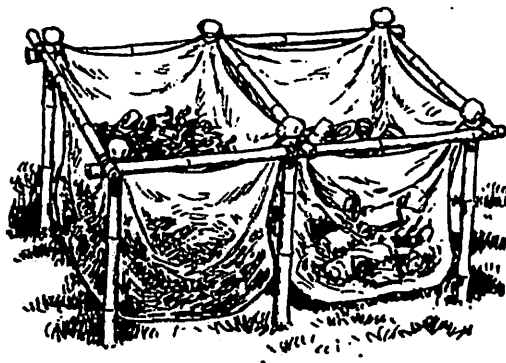
## 6)ごみ

キャンプサイトをよごさないことはキャンパーの鉄則です。  
みんなで工夫して、ごみ処理場を作ります。

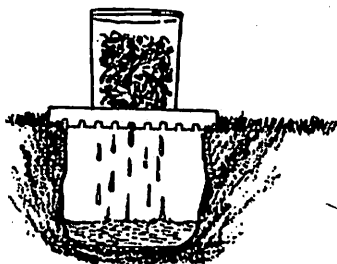
穴を掘って生ごみと燃えないごみを分類します。



丈夫なビニール袋などに生ごみと、燃えないごみを分けます。

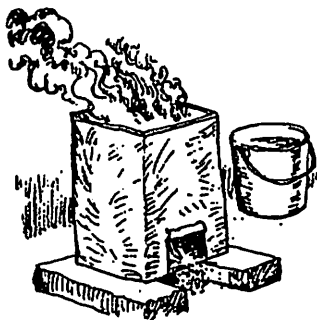


炊事等ででた水を含んだごみ  
は、水気をとる工夫をします。



カンなどは、中のものを出して、たたいてつぶしてごみ袋に入れておきます。

また、カンは焼いて、つぶしてから袋に入ればより衛生的です。

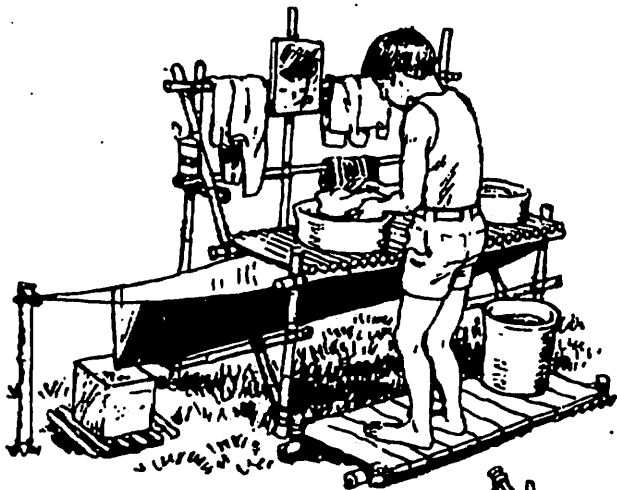


袋は必ずもって帰るか、キャンプ地内の指定の場所に、指定の時間までに持って行きます。

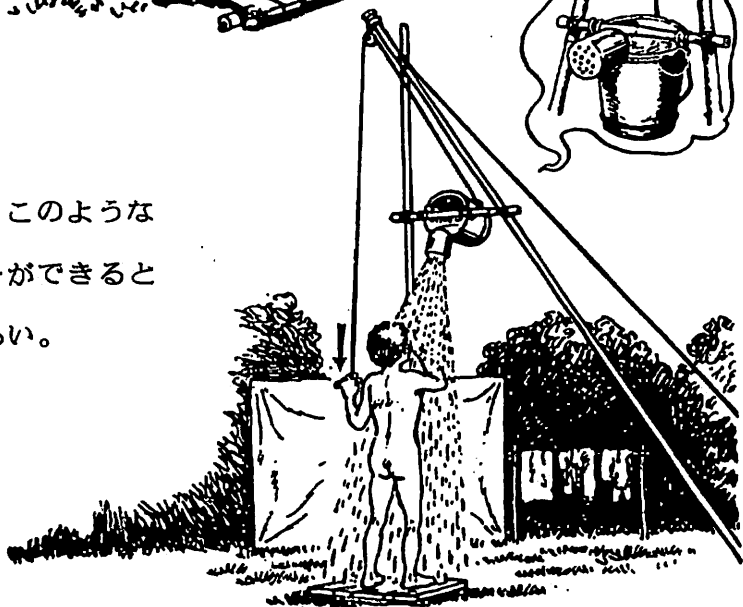


## 7) 洗濯と水浴

キャンプ生活で、プログラムに追われて忘れてしまうのが洗濯です。衛生面から考えて、天気のよい日には洗濯をする時間を作りましょう。



また、このようなシャワーができるとおもしろい。



## キャンプ地での安全

### 1. 病気やけがをしないように

キャンプ前に、自分はどんな病気にかかりやすいか、保護者や、かかりつけの医師によく聞いて、自分の体のことを知っておきます。キャンプ前の健康診断は必ず受けておく必要があります。

特に持病のある人は、前もって隊長に連絡しておくとともに持病の薬を忘れないようにする。

アレルギー性の体質の人や、便秘性の方は、よく注意しておきましょう。

キャンプ中に、もし病気やけがなどした場合には、隊長、または指導者に報告し、早く適切な処置がとれるようにします。



けがをしたときには、自分で救急法を体験してみるのも、スカウトにとっては必要なことです。

まず、よく消毒してから手当をします。

## 包帯の巻き方

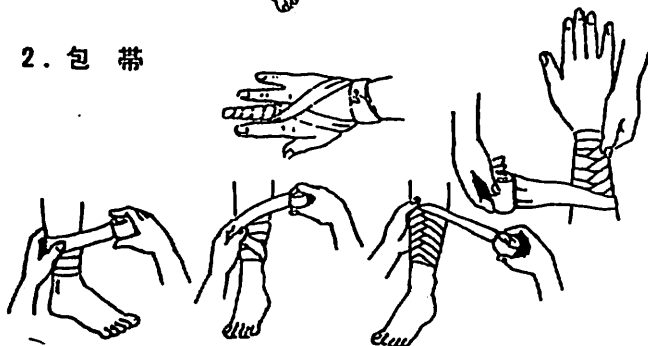
指、足、腕などの包帯の巻き方は、日ごろからよく練習しておくのと、いざというときに役立ちます。

### 包 帯 法

#### 1. 三角布

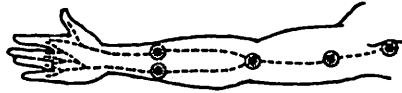
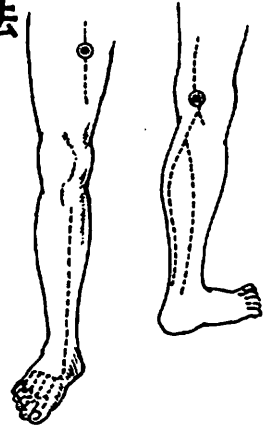
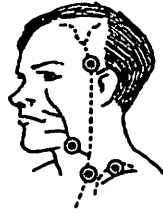
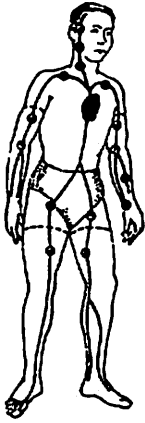


#### 2. 包 帯



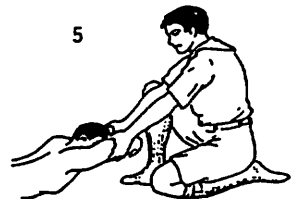
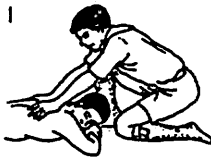
# 止血法

◎ 止血点  
 ..... 動脈



○ 止血帯は最悪の状態のとき以外は使わない。

# 人口呼吸法



救急パックの中身 (参考)

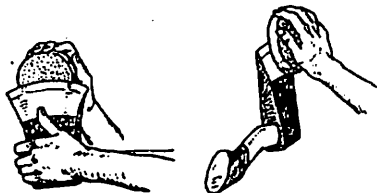




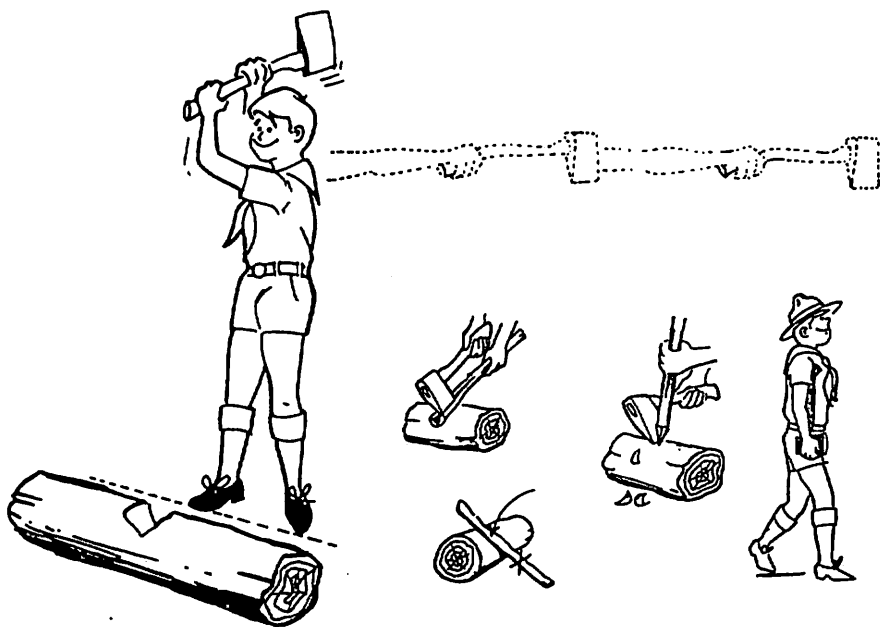
## 2. 危険の防止

薪割りはあぶない作業です。人にけがをさせたり、自分でけがをしないように、十分注意して作業をします。

まず、おのの刃を十分といで、切れるようにしておきます。切れない刃物を使うことは、けがのもとです。



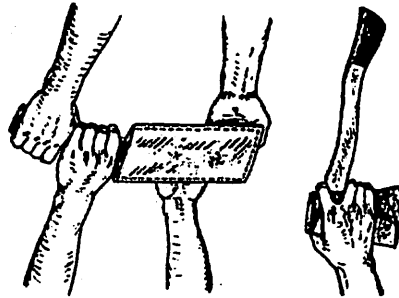
薪割場では、片手におのを持って手をのばした範囲に樹木や、人がいないことが絶対条件です。



おのを持って歩くときや、他の人に渡すときはとくに注意します。

持ち歩くときは、おのの頭をしっかりと持って、落したり、刃が他人にふれないようにします。

渡すときも落さないように刃の部分を十分ささえて、相手が確実に持ったことを確認してから手をはなします。

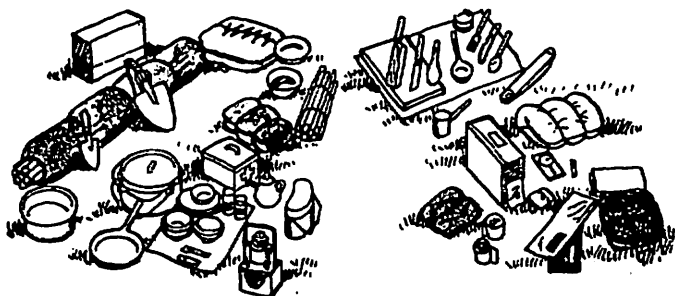


### 3. キャンプ用具の正しい使い方

キャンプ用具には、隊で使うもの、班で使うもの、個人で使うものなどがあります。

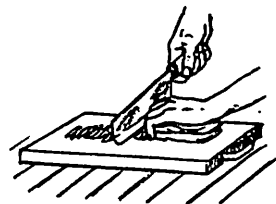
またテントや寝袋のように寝るために必要なものや、なべ、コップ、エール、包丁などの食べるために必要な炊事用具、設営のためのシャベルやなた、薪を割ったりするおの、工作物を作るときに使用する工具、救急衛生資材、文具類、キャンピングに必要なものはいろいろあります。

これらの用具は正しく使うことによって効果があがります。



### 1)包丁

野外料理のときに必要なものの一つです。使うときは、指を切らないように注意します。また、刃はいつでもよくといでおきます。使った後は水気をとって、きちんとしまいます。



2)ナイフは工作物を作るときに必要なものです。これもよく手入れして手を切らないように注意します。

人に渡すときはマナーをきちんと守ります。

### 3)な た

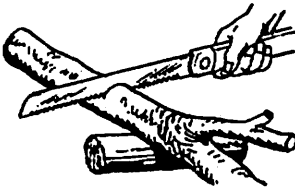
なたは、設営のときに開拓や工作物を作るときに使います。  
また、なたは片刃になっているので、  
薪割りに使うときは十分注意しよう。

使うときは、刃の部分が柄のところから、はずれていないかよく点検してから使います。



### 4)のこぎり

のこぎりは、他の刃物類とくらべて比較的けがの少ない刃物ですが、使い方は、指導者からよく教わっておきます。  
キャンプが終わったら、必ず目立しておしておきます。



### 5)お の

おのは、木を切りたおしたり、薪を作るときに使います。とくに使い方を正しく教えます。

けがのないように注意させます。



## 安全の3原則

保護者の方々は、君たちが無事キャンプから帰ってくるまで心配しながら待っています。

ここで安全について、3つの原則を知りましょう。

### 1, ルールを守る

往復の車中や、公共の場でのマナー、スポーツ、ハイキング、ゲームなどのルールをよく守る。

### 2, 当然予想される危険を防止する

深さがわからない川や、プールにとびこんで事故を起したり、寝不足を知りながら、激しい運動をして倒れたりすることがある。予想される危険は、事前に防ぎます。

### 3, 発生した危険に対し処置をする

万一思いがけず危険にあった場合、落ち着いて注意深く、とっさの処置を確実にします。それから、すぐに、隊長や指導者に知らせる。

いつ、どこで、だれが、何をした、今どんな状態か、この5つを隊長や、医師などの緊急連絡先に知らせるようにします。

油断していると  
大変なことになります。



# キャンピングに役立つ技能

## 1. ロープのいろいろな結び方

キャンプではテント張りや、班サイトの設営で、いろいろなロープの結び方をします。

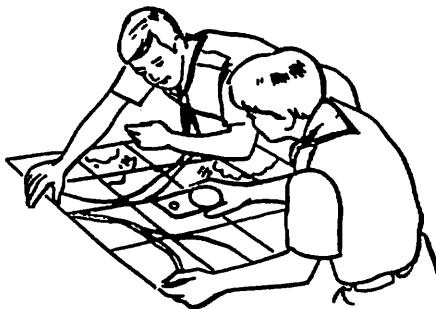
ロープ結びでは、基本的な結び方を身につけることが必要です。2本のロープを結ぶ、つなぐ、しぼりつける、輪を作るなどがあります。

※※ロープの結び方については、指導者必携の「ロープむすび」を参照してください。

## 2. 地図の見方

地図は、現在その用途によって、いろいろなものが作られています。

キャンピングに必要な地図は、交通機関、道路などをあらわしている地図と、地形図の2種類で



す。キャンプをする場所については、地形図を使います。

### 1) 地形図

地形図は、通常25,000/1、50,000/1で、方位、高低、距離を正確につかむことができます。

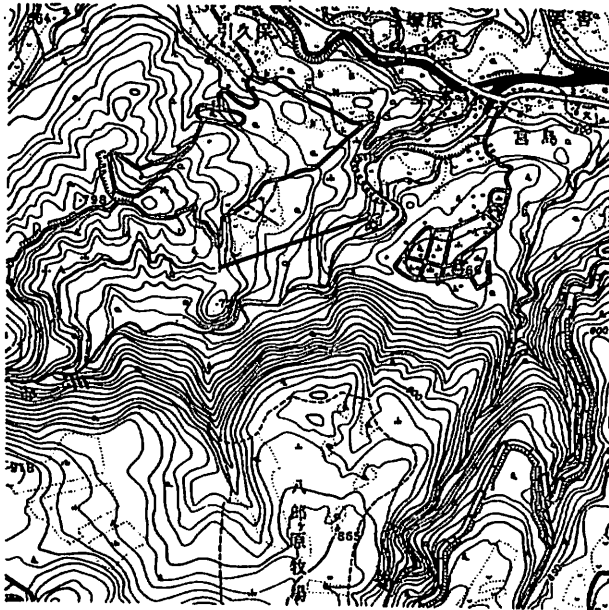
どのような場所でキャンプをするのかを決めるには、たいへん便利です。

あらかじめ準備の段階で、地図上にキャンプの候補地を定め、その土地が平坦な所であるか、高低差がひどすぎないか？、川などがあるかなどを地図上で検討します。

キャンピングに向いていると判断ができたなら、現地に下見に行って、自分の目、自分の足で確かめる必要があります。

地図には学校とか、病院、水田、荒地、川、鉄道、森などいろいろなものが記号であらわしてあります。

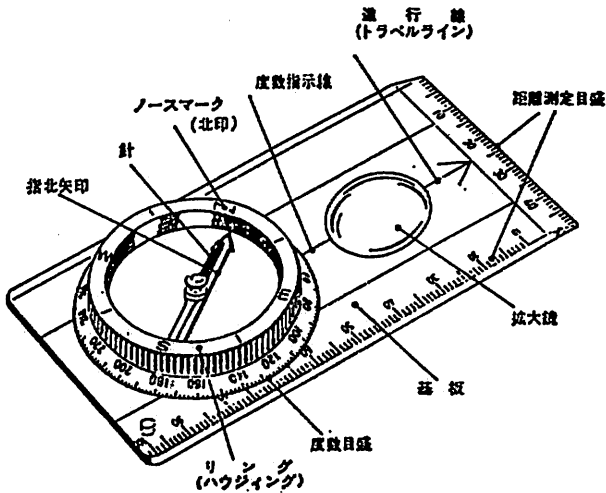
## 2) 現地の読み方 塩原



1 : 25,000    4 cm = 1 km

これからキャンプをする場所をさがしたり、また、現在キャンプをしている場所を、地形図上のどこであるかを見つけて出すことができれば、もう地図読みでは一人前です。

### 3) シルバーコンパス (Silva Compass)

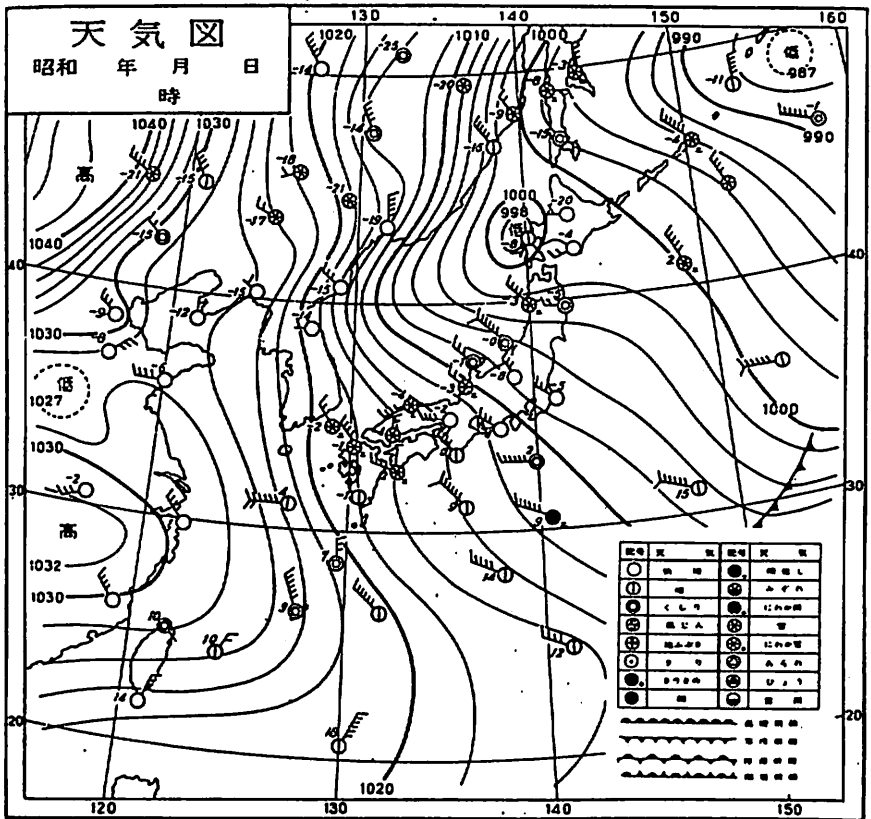


### 3. 天気図の見方

朝、素晴らしい天気でハイキングにでかけたが、午後になって、急に雲がでてきて、そのあけくに強い雨になったなどという経験をよくするものです。

キャンプをするときも、キャンプの期間中の天気については心配なものです。せっかくのプログラムも雨でだめになったり、来る日も来る日も雨で、活動がだめになった経験もします。





そこでまず、準備の段階で長期予報に注意します。次に、キャンプをする時期に相当する期間の過去2～3年の天気図などを、研究することが必要です。

キャンプの期間中は、ラジオの気象通報（NHK第2放送）によって天気図を書き、気圧配置とその動きを知ること、また、雲や風の動きを観測して天気の変化を知ることです。

## 1) 天気図を読む

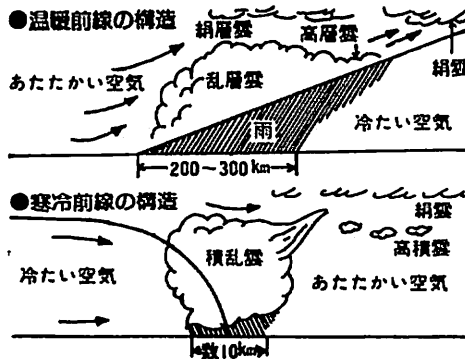
天気図は基本的には地形図と同じです。気圧の等しいものをつないだのが等圧線といい、空気は気圧の高いところから低いところへ流れこみます。

北半球では自転の影響で、空気は高気圧から時計まわりに、低気圧へは時計の逆まわり方向に流れます。等圧線がこんでいるところは強い風が吹き、あいているところでは風が弱くなります。

低気圧、高気圧いずれも中心の気圧で強さ（大きさ）があらわされ、中心の気圧が低いほど、その低気圧は強く大雨を降らせると考えられます。

低気圧からは普通二本の前線が出ますが、この前線と中心付近が低気圧の雨域となります。中心から進行方向に向かって出るのが温暖前線で、後ろの方へ出るのが寒冷前線です。

温暖前線はゆっくりと進み、進行方向の広い範囲にしとし

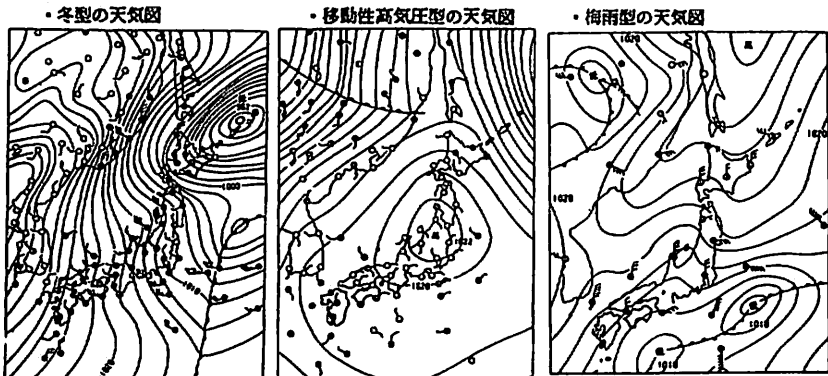


と雨を降させます。温暖前線が通り過ぎると天候はやや回復し、南から暖かい風が吹きこんできます。

寒冷前線は速く進み、雨域は狭いが強い雨を短時間に降らせます。この前線が通過すると、北からの冷たい風が急激に吹きこみます。

日本付近では、大体天気は西から東へ変化するので、天気図上で緯度を10度ずらせば、ほぼ24時間後の気圧配置が予想できます。もっとも東シナ海や日本海で低気圧が発生し、短時間のうちに急速発達して、速く移動することがあるので注意が必要です。

季節によっていろいろな形の天気図になるので、基本的な形を覚えておきましょう。

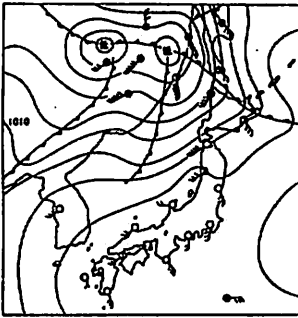


大陸に高気圧、本州東方に低気圧の強い気団があり、西高東低型となっている。北西の風が強く、日本海側は大雪、太平洋側は晴天。普通4.5日は持続し、低気圧がくるとくずれる。

春と秋に多い型。天気はよいが、朝晩は冷えこむ。いくつかの高気圧が重なっているときは帯状高気圧と呼ばれ、数日以上、好天が続く。

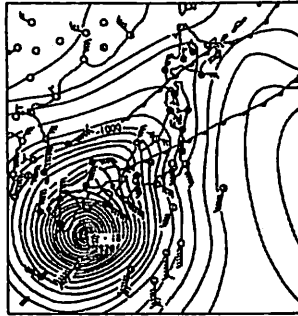
本州の南岸を多くの低気圧が前線でつながって移動する。前線は停滞前線となり、北上すると集中豪雨をとる。北方へぬけてしまうと、梅雨明けとなる。

・夏型の天気図



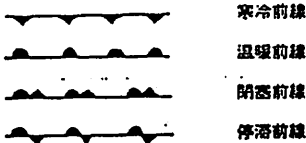
本州東方海上に中心を持つ高気圧におおわれ晴天が続く。南高北低型とも呼ばれる。好天は十日間くらい続くが、寒冷前線が南下したり、気圧の谷が北を通ったときは雷雨がおりやすい。

・台風型の天気図



台風の進路予想はむずかしいが、夏ごろには中国大陸へ向かうものが多く、本州へは秋頃から上陸する。進行方向の右側が風雨とも強く、左側は比較的強くない。

・前線の種類とその記号



・日本式天気記号

記号	○	⊕	⊙	⊛	☁	●	●	●	⊕
天気	快晴	晴	曇	曇	曇	曇	曇	曇	曇
記号	●	⊕	⊗	⊗	△	△	⊕	⊖	
天気	にわか雨	みぞれ	雪	にわか雪	あめ	ひょう	あめ	雷	

## 2) 天気図を書く

前に述べたように新聞の天気図は、実際よりも時間的にかなり遅れているので、できるだけラジオの気象通報から天気図を書く方がよいでしょう。しかし、はじめのうちはなかなかうまく書けないものです、それでも10~20枚も書けば一応身につくものですから、ぜひ書く練習を始めてください。

NHK 第2放送では、右の各時刻に気象通報を流しています。この放送を

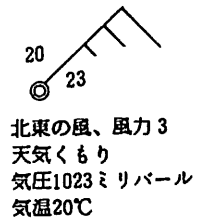
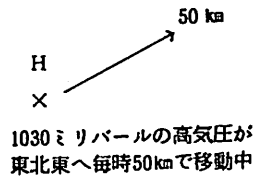
放送時刻	気象観測時間
9時10分	6時
16時00分	12時
22時00分	18時

聞きながら、直接天気図に記入していく方が上達は速いようです。

天気図用紙は気象協会が発行している天気図紙1号または2号を用います。2号用紙の方が範囲が若干広く、かきやすいでしょう。いずれも神戸登山研究所（市立王子動物園北側）神戸海洋気象台（神戸山手）でわけてもらえます。

ラジオの気象通報では、石垣島から富士山まで各地の風向、風力、天気、気圧、気温がまず放送されます。風向、風力は地図にある矢羽根をつけてあらわします。

天気は記号を白丸の中に記入し、気圧は白丸の右下に下2けたの値を書きます。



記入例

気温は、はじめのうち

は聞きながしてもよいでしょう。各地の天気放送が終わると、船舶からの報告が、緯度、経度を示し放送されます。該当の場所に白丸をつくり、同じ要領で書きこみましょう。

気象通報の最後に、日本付近を通る基本等圧線の位置が放送されますが、これは非常に大切ですから聞きもらさないように。

さあ、それでは同じ気圧のところを結んで等圧線を書きまし

よう。

等圧線は2 ミリバール (mb) おきに書きますが、算初は4mb 毎でもよいでしょう。地図の等高線の要領ですが、なめらかな線でつなげばよいのです。

初めのうちは、よく聞きもらしがありますから、ラジカセなどを利用して、確実に書けるようにしましょう。

30分ほどで書けるようになればもうしめたものです。

### 3) 雲による天気観測

昔からよく土地の言い伝えで天気を予想することがありますが、これらは経験の中から生まれた知識をもとに考えられたもので、一概に俗言とは言えず、意外とよくあたるものが多いようです。土地、土地で多少違っていることもありますから、絶対的なものとは考えず、天気図を読んで得た予想と照らし合わせるとよいでしょう。ここにいくつかの例をあげます。

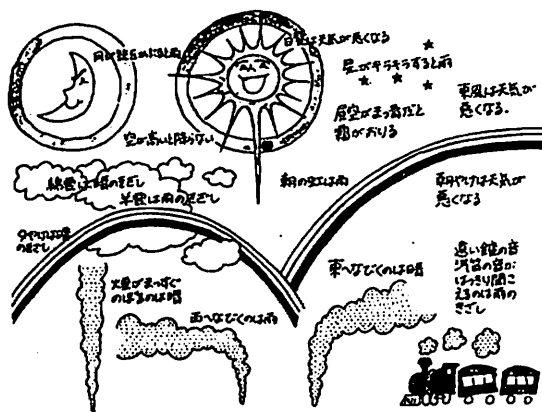
○・東の空で雷が鳴っても雨は降らない。

・ビュフォードの風力階級

風力階級	記号	風速 (km/h)	所 見
0		0.0-0.2	地上 煙がさうやうのぼる。 海上 波のよに静か。
1		0.3-1.5	地上 煙がなびき風向がわかる程度。 海上 魚のうろこのようなさざなみが見える。
2		1.6-3.3	地上 葉に風を感じ、木の葉が動く。 海上 波頭が見える、波頭はくだけない。
3		3.4-5.4	地上 木の葉、煙がたえず動く。 海上 波頭がくだけ、ときに白波が見られる。
4		5.5-7.9	地上 小枝が動き砂ぼこりが増える。 海上 波は高くないが白波が多くなる。
5		8.0-10.7	地上 葉のあざや草がゆれはじめる。 海上 白波が多く、波がうねりになる。
6		10.8-13.8	地上 大波があらわれはじめ、波打った波頭が見える。 海上 樹木全体がゆれ、風に向かつて多くなる。
7		13.9-17.1	地上 波頭がくだけ白い泡となり、風の方向に流れる。 海上 小枝が折れる、風に向かつて多くなる。
8		17.2-20.7	地上 高い大波、うねりとなり。 海上 かわらなごが飛び、人車に被害が起こる。
9		20.8-24.4	地上 さらに高い大波、海がうねりだす。 海上 樹木は根こそぎになり、人車に大被害。
10		24.5-28.0	地上 非常に高い大波、海面全体が白く、うねりが強い。 海上 広範囲の破壊が起こる。
11		28.1-32.6	地上 山のような大波、破壊絶頂。 海上 被害がますます甚大。
12		32.7-36.9	地上 海上は泡としかおぼえられ、視程がひどく悪い。

- ・夕焼けなら翌日は晴れ。
- ・東の風が吹けば天気は下り坂。
- ・星がまたたけば風が吹く。
- ・入道雲が大きくなれば夕立。
- ・朝焼けは午後から雨。
- ・明け方夜露が降りたらその日はいい天気。
- ・明け方夜露が降りず草が乾いていれば午後から雨。
- ・風が西から東へ吹けば天気変わらず。
- ・アリが卵を運ぶと雨。
- ・スズメが水浴びすると晴。
- ・遠くの山がよく見えるのは雨。
- ・霧の消散が急なのは晴。
- ・月にかさがかかると雨または曇。
- ・太陽にかさがかかると風または雨。

これらは古くからの言い伝えですが、登山家などが、空を見て局地の天気を予測する観天望気という実用的なものもあります。



・雲の種類

A, 絹雲が絹層雲に、絹層雲が高層雲に変わるように、雲量が増し雲が厚くなる。また雲が低くなることは、全て悪天のきざし。また富士山のような独立峰にかかる笠雲やつるし雲は悪天のきざし。



B, 寒冷前線による線状の雲の接近は天気悪化。

C, 絹雲が西から東に動き、高層雲や上下雲が南西ないし南東から北へ動くのは天気悪化。



D, 異様な暖かさや、空気が湿っぽくなり、谷川の水音がよく聞えるようになるのは天気悪化。

E, 偏西風が吹く季節、太平洋側の山では風が南分をもつと（今まで西風であったのが南々西や南西風になること）天気が悪化する。北分をもつと好転する。

F, 北半球では、風を背中に受けて立つと、その人の左手前方に低気圧があり、右手の後方に気圧の高いところがある。（バイ・スバロットの法則）

G, 一般的には、山の斜面に沿って湿潤空気が上昇するときば平野部よりも山の方が、それも高いところほど雨量が多く、また、山の傾斜が急なほど降雨は強い。

H, 星のキラキラまたたくのは翌日風が吹くきざし。

I, 体感温度は風速が  $1\text{m/sec}$  増すことに  $1^{\circ}\text{C}$  ずつ低下する。





## 5. 楽しいキャンプのプログラム

### 1) ハイキング

ハイキングは、キャンプのプログラムをより楽しいものにします。自然観察ハイクや追跡、探検、関所、密警ハイクなど、いろいろな種類のハイキングが、恵まれた自然環境の中でできます。いろいろ組合せるとよいでしょう。近くに山があれば、登山も楽しいものです。自分の体力をためすよい機会です。

くわしくは、「指導者必携」のハイキングの参照してください。

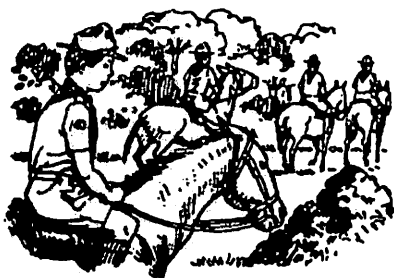


### 2) 牧場の見学

牧場に行ったり、ポニーのような動物がいれば、乗って遊ぶのも楽しいものです。

### 3) 乗馬

乗馬ができる場所では、係員の指導を受けて、体験してみるのもよいでしょう。



#### 4) スケッチ

キャンプ中に、美しい風景をスケッチするのも、いい思い出になるでしょう。



#### 5) 植物の観察

身近にある植物を観察し、食べられる野草、薬になる野草、毒のある野草などを観察するのによい機会です。



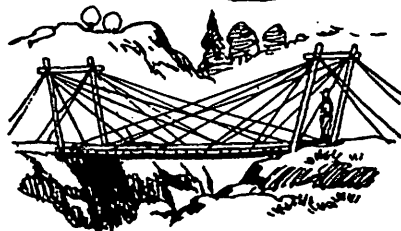
#### 6) 鳥の観察

自然の中での楽しみに野鳥の観察があります。鳥の形や鳴声、飛び方などを記録するのもよいでしょう。



#### 7) パイオニアリング

キャンプ中に、いろいろな技能を体得したり、それを応用したプログラムを展開するのも楽しい。



※「指導者必携」の「パイオニアリング」および「ロープのむすび」参照。

## キャンプファイア

日が落ちて夕食もすみ、各人が準備した班の出し物と歌を持ちよって、夜のとばりの中で展開されるキャンプファイアは、キャンプ生活を一層印象深いものにします。

キャンプファイアは、キャンプの中でなくてはならないプログラムです。「指導者必携」の「営火研究」を参照してください。



## 撤 営

スカウト・キャンプでは、撤営作業は、設営やプログラムとともに大切なものです。撤営時における手違いは手直しすることができません、ものによってはその後のキャンプにおよぼす影響が大きいので、手違いは許されません。

撤営の合図があるまで、設営と改善の作業が続けられていなければなりません。

### 1. 撤営の順序

#### 1) 撤営の前日

A, 支払いを全部すませる。

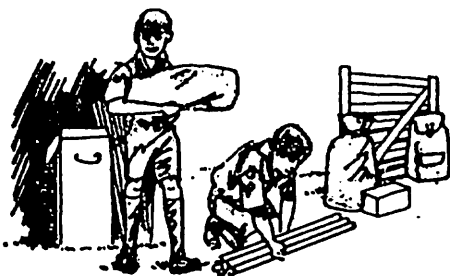
借用品で用済みのものは返す。

B, 翌日の交通、輸送の予約をもう一度確める。

C, ゴミを焼きすてる。

D, 便所、ゴミ穴などは一つだけ残して埋めもどす。

E, 用済みの用具、教材を荷造りする。



F, 炊事具、食器も最小限度を残して洗い、荷造りする。

G, 正規のペグの収納には時間を要するので、撤取の前日などに、仮ペグに替えて、乾燥、手入する。



H, テント、フライ類にブラシをかけて、ゴミを落しておく。

I, 班長会議で明日の撤営の手順と各班の分担をよく打合せておく。

## 2) 当 日

A, 個人携行品、装備の整理、荷造り。

B, テントの乾燥。

C, 工作物の撤去、分解したものは長さをそろえて整理して束ねておく（薪の余ったものも）。

D, 炊具・食器の整理、収納。

E, 掲揚柱、掲示板などの撤去。

F, 救急用テント、指導者用テントの撤去、収納。

G, 各班の居住テントの撤去、収納。

H, 倉庫テントの撤去、収納。

I, 食堂、炊事場のフライシートの撤去、収納。

J, ゴミ穴、便所の埋めもどし。

## 2. テントのたたみ方

### 1) グランドシートとテント本体をはなす

テントの裾布、腰布にかかっている土をよく取りのぞき、グランドシートとテント本体を結んであるひもをはずし、テント本体をとめてある裾止めのペグを抜きます。

### 2) グランドシートを外にだす

### 3) フライシートをとりのぞく

フライシートの腰綱のペグを抜き、フライシートをはぎ、はいだシートは、じゃまにならないところに置きます。

### 4) グランドシートの上にテント本体をたおす

テント本体の腰綱のペグを抜き、グランドシートの上に倒します。(抜いたペグは1箇所を集め、土を落して、本数を確認し、袋に入れます)

### 5) ポールをはずす

テント本体からポールをはずします。ポールの先端にかかっている親綱をたたみます。

### 6) テントのよごれをよく落す

グランドシートの上にテント本体を2つに折り、腰布のよごれをブラシなどで落とし、また、破れているか?どうかを確認しておきます。

### 7) テント本体、フライシート、グランドシートをたたむ

テント本体は、腰布、扉布の部分を内側に折りたたみます。テント本体、フライシート、グランドシートをたたむ大きさは、収納袋の大きさに合わせてたたみます。

### 8) 収納袋にしまう

テント、ペグ、ポールなどを、それぞれ収納袋に整理する。

# キャンプの反省

## 1. 報告書の作り方

何事も実施した後には、それを報告書にまとめることが大切です。キャンプ期間中の班報告書、健康観察表、備品点検表、キャンプ終了後の反省評価表、進歩課目修得表などをまとめて、工夫した報告書を作ります。これらの報告書等は次のキャンプに役立つものです。

報告書の書き方については、次頁の例を参考にして各人、各班で工夫してください。

## 2. キャンプの反省と評価

キャンプの成功の鍵は、周到な計画と、それにもとづく安全な実施、および、その後の評価が十分になされたかにかかっています。

成功した原因、失敗した原因をいろいろな面から分析してやる必要があります。班会議で評価表を作り、実施後はそれによって評価・反省をしよう。





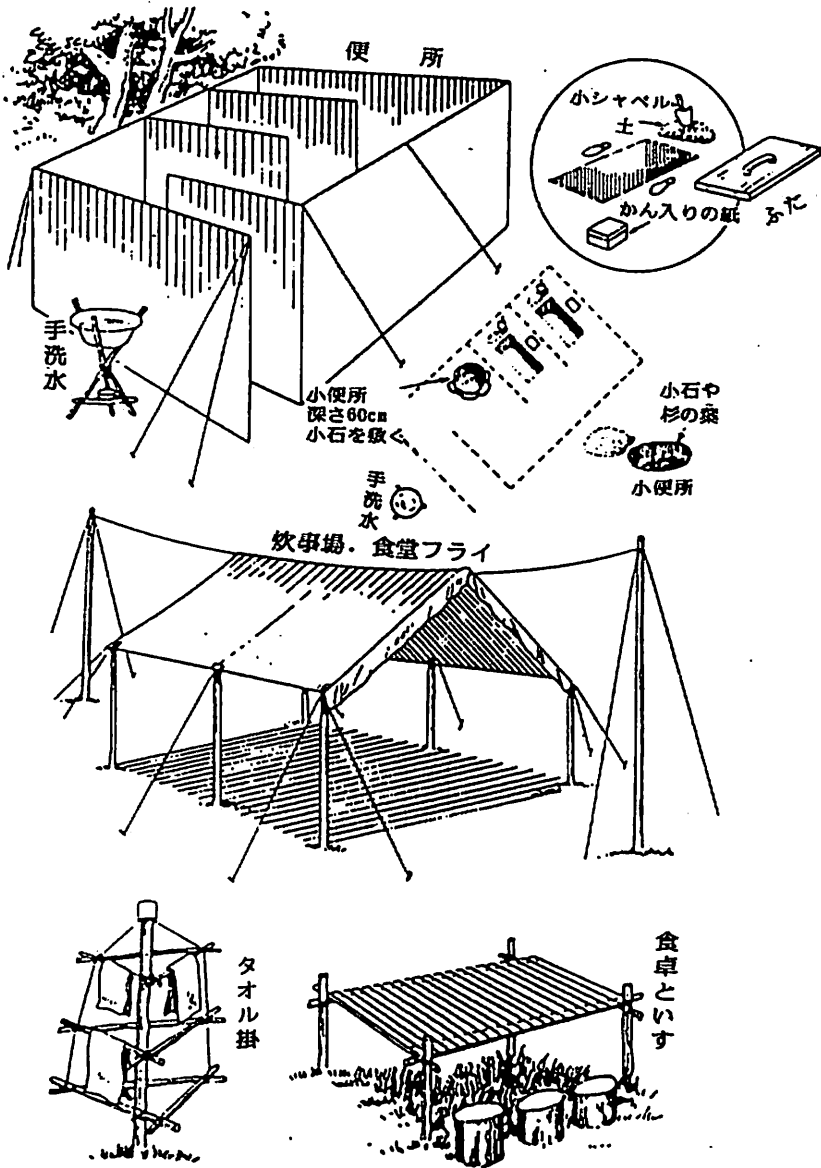
# 班 報 告 書

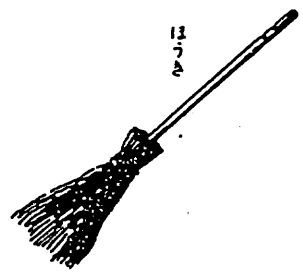
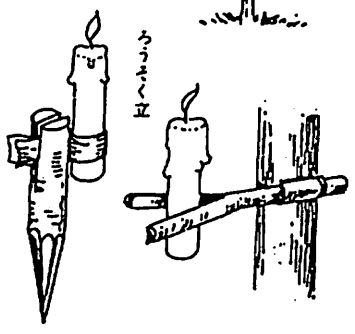
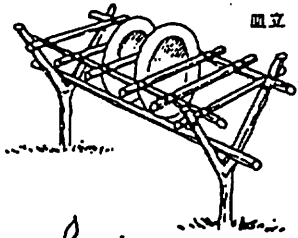
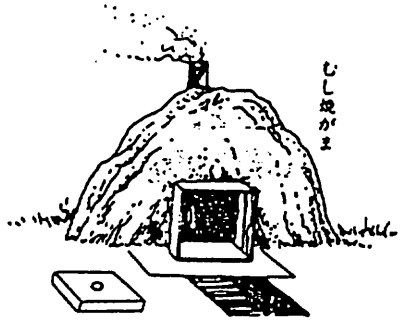
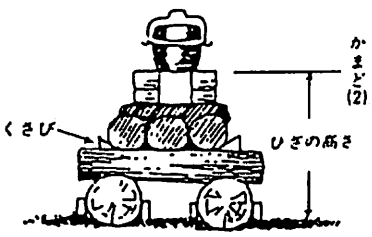
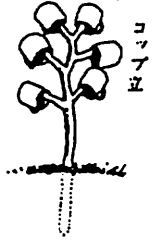
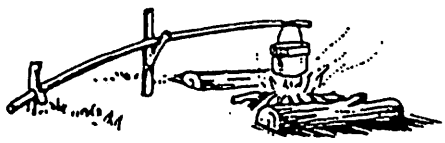
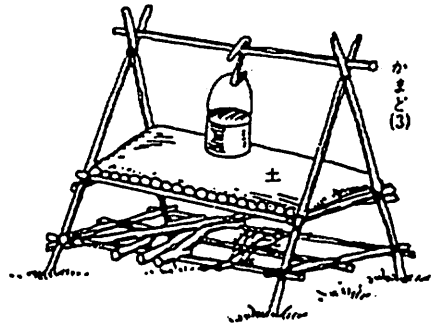
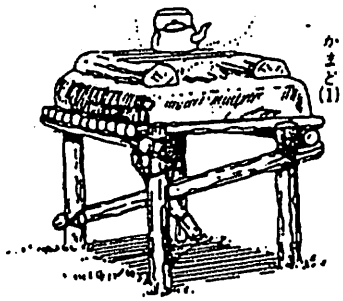
第 \_\_\_\_\_ 隊 \_\_\_\_\_ 班

第 日 月 日 曜				と ち ろ							
天候・気温・湿度	朝	昼	夜	班 精 神							
				班 呼							
				班のモットー							
				本日の重点目標							
こ ん だ で	朝	昼	夜	番号	役務	氏 名	睡眠	食欲	便通	事故	
				1							
				2							
				3							
				4							
間 食	朝	昼	夜	5							
				6							
作 業 ・ 行 動				7							
				8							
				感 想							
				記入者							

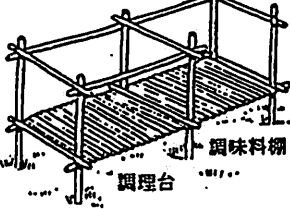
睡眠、食欲等については、良は○印、不良は×印で示す

野営工作物の一例（参考）

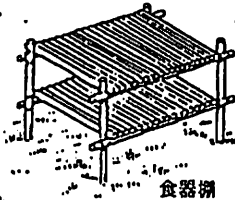




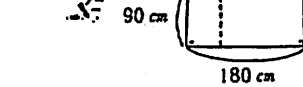
食器棚と調理台の一例



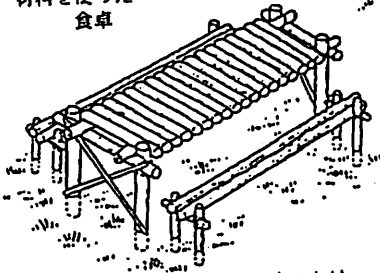
まきおきば



とめむすび



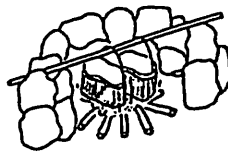
材料を使った食卓



コップ立て

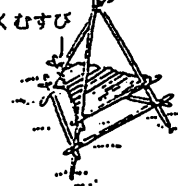
タオルかけ

カマドの例 石を使用したもの



はさみしぼり

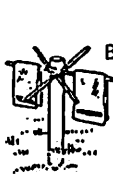
かくむすび



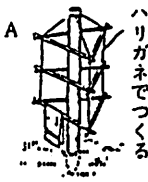
三脚テーブル



よく洗ったかれ枝 (根本をとがらしハンガーで立てる)



クギでとめるか、ひもかハリガネでしぼる

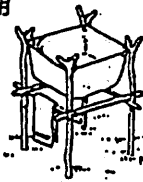


ハリガネでつくる

また木を応用したなべつり



A点を中心として移動カンタン



洗面台



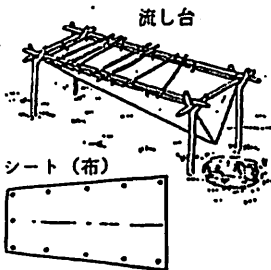
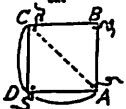
紙くず袋

はさみしぼり

かまどの雨おおい



約180cmの正方形 B-D間、約150cm A-A高さ



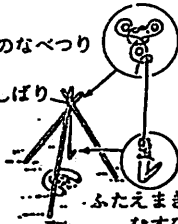
流し台

シート(布)

スペイン手錠むすび

三脚のなべつり

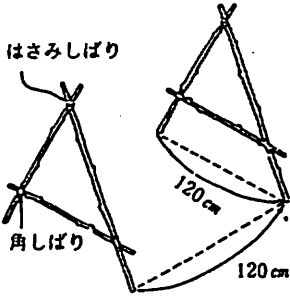
はさみしぼり



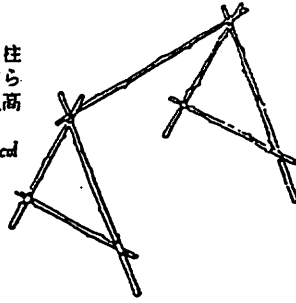
ふたえまきむすび

立ちかまどを作る順序とむすび

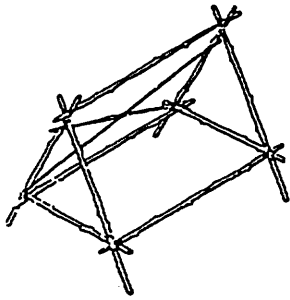
はさみしばり



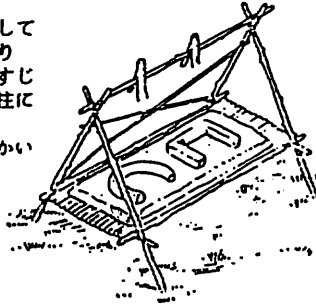
① A字形を2コ、柱の長さ150cmぐらい、横木の地上高35~40cm 脚の開き約120cmの上に立てる。



② 樫木を渡して柱の1本にはさみしばり



③ 床の2本を渡して横木に角しばり 向う側の柱にすじかいを渡し、柱にはさみしばり 交差点はすじかいしばり

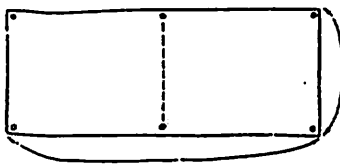


④ 床に竹か小丸太をわたす。その上に土つきの草や木の藁をしき、土で厚くおおう。かまどを作るかまどの火床の高さは、ひざの高さが安全

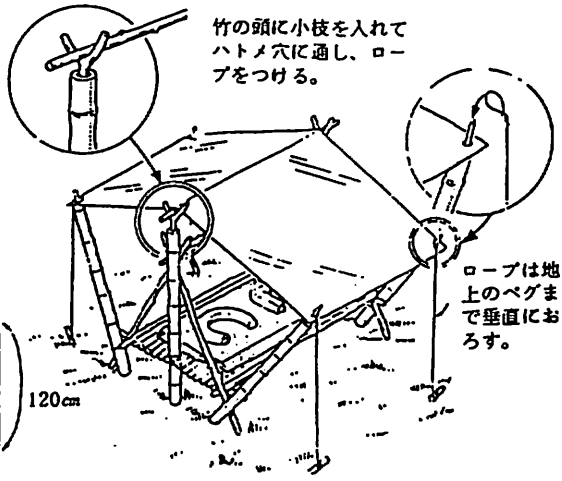
立ちかまどに屋根をつけたら

中央柱2本には、頭部に小さいまた木を入れると、樫木が渡せる。

長さ3mほどの布があれば、こんな屋根もできる。大きな炎の火はつかえない。火床を高くすれば雨天用食堂にもなる。



300 cm



## 屋台テント

高い床張りの上にテントを張ったもので、衛生上申分のないものである。長期間のキャンプに使用するのによい。

(フレッシュエアータント)

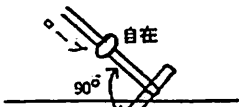
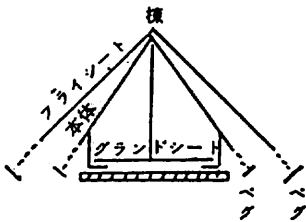


### テントの設営方法

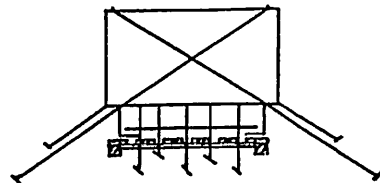
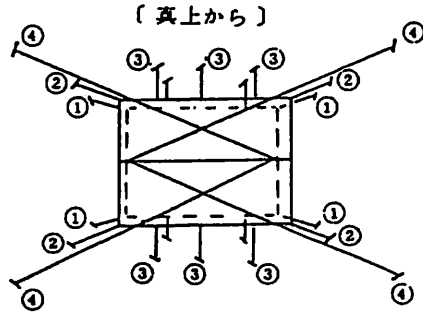
- (1) スノコを置く。
- (2) グランドシートを敷く。(雨天時は最後に敷く)
- (3) 支柱を組み、本体を吊し、その上にフライシートをかける。
- (4) 本体の四隅の綱を張る。
- (5) 本体の他の綱を張る。(自在の調節を効果的に)
- (6) フライシートの四隅の綱を張る。
- (7) フライシートの他の綱を張る。(自在の調節を効果的に)
- (8) メインロープを張る。

〔注〕・テントの入口は風下・斜面の下側

- ・設営時 ファスナーは閉めておくこと。
- ・雨天時の設営は、グランドシートをぬらさぬようにする。
- ・設営後、収納袋・ハンマー・ペグは、テント内へ保管



ペグの打ち方



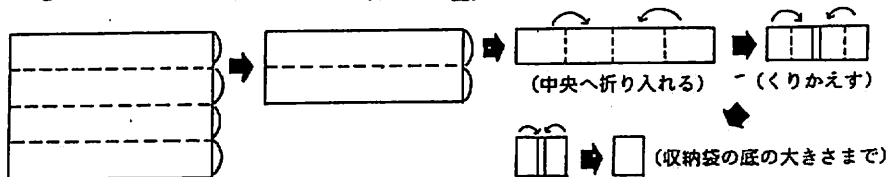
〔側面から〕

## テント撤収について

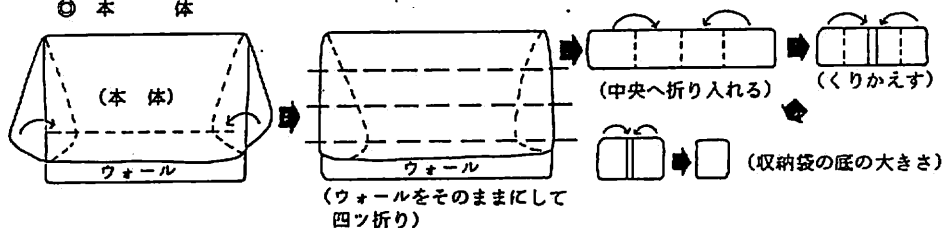
※ テントの撤収は特別な事情を除き原則として実施していただきます。

1. テントを正しく折りたたみ (図参照) 決められた順序で収納袋へ入れて下さい。

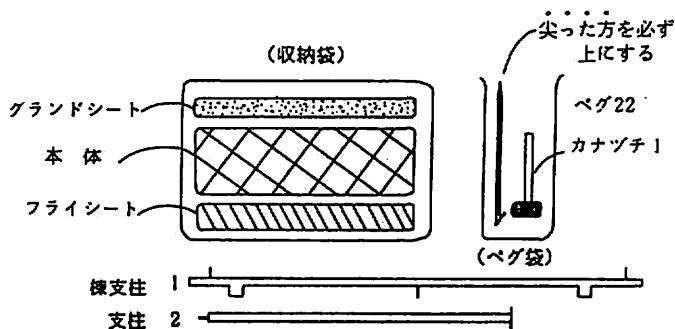
### ◎ グランドシート・フライシート (ウォール型)



### ◎ 本体



### ◎ 用具と収納順序



- 「注」 1. ベグはバケツへ水を入れその中で泥や土をおとす。  
(直接水道で洗わない。)
2. テント類は土や泥を落してから収納する。
3. 収納袋の底をよく見て入れる。方向を間違わないようにする。

## 営火の研究

営火を効果的に実施するには、良い場所を得て周到な準備のもとに行うことが必要ですが、なんとといっても、その「だしもの」の内容が営火の中に占める役割りは大きい。営火をさわやかなまどい場に、楽しさの中から親しい友情と情操を育てて行くには、それにふさわしい内容の「だしもの」と演出が必要になるでしょう。

営火の種類によって、それぞれのねらいに対して効果的であるように、だしものを考え、その演出を工夫して、生涯忘れ得ないような感激の営火にしたいものです。





★ 営火の意義

★ 営火の指導法

- 1, 教育面の準備
- 2, 運営面の準備

★ 出し物について

- 1, スタンツ (I)
- 2, 歌とゲームについて
- 3, 踊りについて
- 4, その他の出し物
- 5, スタンツ (II) [出し物の例]
- 6, 夜 話

★ キャンプファイアーの意義 ★

◎ 営火について

営火は、ボーイスカウトの野外生活の中にあって最も楽しい意義深いものでなければならない。

ちろちろ燃える小さな営火 (班) を思い出してほしい。一日の疲れと今日一日精一杯活動したと言う満足感にひたりながら、仲間と語り合う素晴らしいひとときのことを……これも営火です。

今ここで営火の意義と言う事を考える時、1807年B・Pが、ブラウンシーアイランドの実験キャンプの絵を思い出してほしい。浜辺で営火をかこみ一日の疲れを休めながら、B・Pが話しをしている図です。B・Pはきっと夜話を話しているところでしょう。

指導者の体験話などを話してきかせるのにはもっとも良い環境ではないでしょうか。

こうした営火が名残りの営火と言われる由縁です。

私達が常に体験する夏期野営で行われるキャンプファイアを行うにあたっては、特別のプログラムと準備が必要です。特にここでは次の4つの事が守られなければなりません。まず第1に楽しい中にも規律のある楽しさがなければなりません。第2に参加スカウトの協同性が養われるようにしなければなりません。第3に創造性を養うよう指導する事です。第4として、こうした準備と演出によってスカウトの精神を目覚めさせ、感動させる事の出来る夜話が準備されている事です。この事が他のキャンプファイアとの大きな違いでしょう。営火はボーイスカウトの顔であると言いつるされていますが、心に銘記しておきたい一言です。

### 1, 火を囲む心……………素朴な人間の営み

火によって調理し肉体を養い

火によって暖をとり、肉体を寒冷より守る

火によって精神を浄化し、人類である幸福を悦び

感謝の念を火をたいて神仏にささげる

### 2, Scoutingにおけるキャンプファイアの教育的、訓練的意義

- ・ 野営生活の一日の労を慰め、満足感と安らぎを与え、明日への糧、明日も頑張ろうと言う希望を与える場。
- ・ 火を中心に参加者がまとまり、みんな仲間だと言う気持ち、喜びをふるいたたせるもの、一体感を味わい浸る。
- ・ 班全員で出演し、一緒に考え、行動していくことにより、その連帯感をさらに増幅させる。
- ・ 参加者相互の心のふれ合い、リーダーとスカウトの心の結びつきと、スカウト同志の友情を育て、さらに情操を育てる。
- ・ 自然の神秘を一層身近に感じ、神の心に触れさせ、神に至る心を養うもの。

★・信仰・ちかい・おきて・についての導きとして  
好適の場・★

## ◎ 営火の指導法

営火を楽しく意義深いものにするには、十分な準備が必要です。準備としては、営火にのぞむスカウト、指導者の心構えや、具体的な運営面で考えなければならないことがあります。

### 1, 教育面の準備

- ・ 火を夜のペール、静けさを大切に作る心をもたせる。
- ・ 営火は演芸会や隠し芸大会ではありません。そこにはきまった型はありませんが、教育的規律があります。
- ・ 上手にやろうと努力するもの、いいかげんな演技はしない。

- ・ 大声を出したり、ヤジツたりしない。拍手も自然にでるものであってほしい。
- ・ 出し物などは、キャンプファイアーの雰囲気にあうもので、自然を利用したもの。
- ・ 宗教、職業、指導者をやゆするような物はいけない。
- ・ 営火を待つ心を大切に。（時間が守れるよう）
- ・ 日ごろの歌の指導を、心から歌う。
- ・ 劇やスタンツを多種多様におりこまなければ、営火でない。はあやまり。
- ・ 営火夜話の十分な準備を、……日ごろからの研究。
- ・ 見るもの、見せるものではない。そこに集う人全員が参加することにより楽しくなる。
- ・ 安全は常に考え、火の扱い、場所、道具を考える。

## 2, 運営面の準備

### 1) 営火の役割

- ・ 営火長（ファイアーチーフ）

営火全体の中心となります。野営長や賓客などになってもらうとよい。点火、開会、閉会の宣言や感銘深い夜話、全般的な雰囲気、気分の統一をはかる。

上席に位置します。

- ・ 司会者（エールマスター）

営火長の意を体して、プログラムの進行、展開をして

行く。間をあかさず臨機応変な処置ができ、演出力をもっていることが望ましい。

営火が成功するか否かの鍵をにぎっています。

#### ・ 火守り（ファイアーキーパー）

司会者と常に緊密な連絡をとり、スムーズな進行に協力する。薪を用意し、場所作りから、薪組み、趣向をこらした点火法などの準備係を兼ねることもあります。

プログラムの進行に合わせて、火勢を強めたり、静めたりする。火を直したり、薪の補充も目立たないように、裏方に徹します。

後始末係……営火の後始末ですから重責です。

火を扱げながら水を丁寧にかける。風に注意し、砂や土をかぶせ、再び燃え出さないようにする。また、2～3時間後点検して、翌朝の清掃、火床の整理をします。

## 2) 場所の選定

- ・ 静かな雰囲気の出せるような所。
- ・ 大きな樹木に囲まれ、参加人数に応じた平坦な空地。
- ・ 火が周囲や樹木などに燃え移る心配のない所。
- ・ 近くに電灯などの明りのない所。
- ・ キャンプサイトから離れた所。
- ・ 他から営火場が見えない所。
- ・ 自分達だけであること。

- ・ 風の吹きさらしでない、湿気のない所。
- ・ うるさい虫のこない所。

### 3) 場所作り

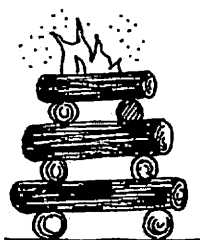
- ・ 火床の位置を決める。
- ・ 営火長の席、指導者、隊員の席を決める。  
※ /ヶ隊～2ヶ隊位の円の直径は6～8m 位が適当。  
※各自の席を工夫する (丸太・シーターポン等)
- ・ 場内、ステージの整備をする。

### 4) 新組み

- ・ 井桁型

もっとも一般的な組み方です。

#### ① 井桁型



隊営火用  
20～40人

ロストル1段  
(火床)

#### ②



40～100人

太堅薪の2本を円の中心に、点火の方法を考えて土台にする。普通点火口が1ヶ所の時は、向い側から点火、点火口2ヶ所の時は左右両側から点火します。そして点火口は井桁の中段にする。

## (2) 点 火

営火の目的によって点火方法を考える。

カブスカウトの場合は特に安全第一であり、入場する前にスタッフによって点火しておく。

## (3) 退 場

静かに余韻を残す。

別れの歌、一日の終り等の歌をハミングしながら、班ごとにスタッフの持つトーチの先導で退場する。

### ★営火のリズム

動 ー 静 ー 動

- ・スタッフの出し物は終りの方に出す。
- ・最初の出し物を大切に……
- ・活発なもの、興奮の残るものは終りの方にしない。
- ・営火の時間は60分～90分程度にする。



## ★ 出し物について ★

### 1. スタンツ

スタンツは機知を尊ぶ

◎スタンツは即興という点で劇と異なる。長い時間をかけ、ゆっくりと練習し、小道具を作ったりできる劇とは異なり、スタンツは野営などの営火の折、短時間で実施するものであるから、自然のありあわせの物を工夫して小道具にしたり、練習も1～2回であり全ての点で即興とならざるを得ない。従って機知が必要となる。

◎台本をおぼえ、ただそのせりふを台本どおりしゃべるのではなく、話のすじ、内容、人物等をしっかりと頭において感情の起伏に注意をはらい演ずるように心がけ、せりふも時によっては、演ずる人によってアドリブを入れる。



◎せりふ、小道具等ちょっとした思いつきがスタンツを盛りあげ、楽しい営火になる。(創造力・ユーモア・創意工夫……)  
スタンツは素朴で即興的なものの方が愉快で楽しい。

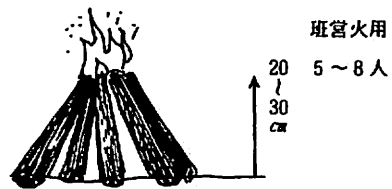
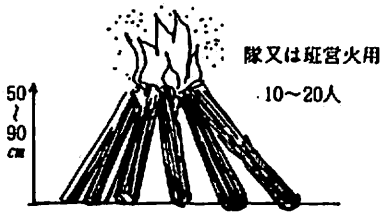


例えば、10段の場合、5段目はすき間なく並べ、更に5段程度井桁を組み、上から薪とそだを入れる。点火口には新聞紙などを入れておく。高さは安定度や火の効果などから1mを越えない方がよい。

・ ピラミッド型

◎ ピラミッド型 (星型の火)

◎



火がつきやすく、よく燃えるが持続時間が短い。親睦的な営火に使用される場合が多い。くづれやすいので、しっかり組む。

基本になる4本の薪は根本を土の中に埋めるなどして固定した方がよい。その中に薪を合掌させるように組み、中心にはそだを入れておく。点火口が1ヶ所の場合は営火長の席の向い側につくる。

・ 応用型 (図解)

① ネスムックの火

② ハンターの火 (B)



③ ハンターの火 (A)

## ・ 薪 の 量

薪はすぐ調達できるとは限らないので、早くから用意する。  
堅薪で直径10cm、長さ70~80cm位のもの。30~35本  
ぐらい、そだを2把程度で井桁型の場合は90分ぐらいは大丈  
夫です。ピラミッド型は燃えやすいので60分ぐらいです。

## 5) プログラムを組む

### ★プログラムの構成要素 (4S)

・ Song ・ Stunts ・ Stories ・ Shomanstip

歌……………明るく健康的で、みんなで歌えるもの。

スタント……………営火の演出効果を盛り上げるもの。機知に富  
んだ寸劇、素朴な即興的な劇。

夜話……………感動的な話、楽しくユーモラスな話。

ショーマンシップ……………単なる演出でなく、営火の心組み、み  
んなの心を火を中心に喜びふるい立つ  
ように。

### ★プログラムの手順

#### (1) 入 場

始める前のざわめきや私語は禁物です。

〔例〕入場する前の一定の場所で沈黙、ハミングで入  
場。(班長に事前の指示)

## スタントの題材

◎スタントの題材は、色々考えられるが、營火で行うという点から考えればその範囲はおのづから決ってくる。

筋も、説明的なものや、教訓めいたものより野營地の民話、伝説、日常のニュース、身近な出来事など、特にその地方の民話など素朴な題材が好ましい。

場合によっては、同一のテーマでスタントを各班（組）毎に創作させるのもおもしろい。



## ふん装

### ◎ポンチョ

僧侶にも、侍にも、騎士にも、女性にも、動物にもと、いろいろに使われる。

### ◎風呂敷

3～4枚あると野袴、着物（らしきもの）、かぶりもの等、大変活用範囲が広く便利です。

### ◎包装紙と紙袋

包装紙は色や柄を考えて使うと面白い。大切な部分は裏側からガムテープを貼って補強すると案外強い。紙袋は袖や帽子に利用できる。

### ◎その他

ネックチーフ、手拭、バスタオル、セーター、ジャンパー、寝袋など何でも工夫できる。

### ◎注 意

ふん装は特徴をとらえて、それらしくふんすることであり本物そっくりに仮装するのは違う。

## 4) 小 道 具

### 打楽器

タンバリン、カスタネットなど既製のものの他竹、空カン鈴、おけ、古タイヤ利用の太鼓など手製の物を加えて演奏すると楽しい。

### 音の出る楽器

ハーモニカ、ピアノカ、ウクレレ、ギターなどを使うのもよいが、品のない使い方はつまみみたい。

棒 / 本でも使い方によってはいろいろな道具になる。

## ◎注意

身近にあるものと言っても危険なもの、例えば鎌やなたなど刃物は使わせないこと。又上記のように動作によって / 本の棒でも色々なものを表現することができる。

## 演ずるにあたって

### ◎班員の協力の結晶

- ・ 班員みんなでするところに意義がある。
- ・ 班員の得意な面、良いところを集めて、協同して作り出す。
- ・ 上手に一生懸命やろうとする努力。
- ・ 素朴な即興的なもの。
- ・ いいかげんな駄洒落は興を失う。

### ◎演技時間とリハーサル

- ・ 一つの演技は2～5分程度。
- ・ 熱が入ると出演時間が長くなる。
- ・ 自分達だけで、楽しんでしまう。
- ・ 時間をみつめて、リハーサルが必要。

### ◎舞台と照明

- ・ 舞台は円形の屋外劇場。出入りに変化がもたせられる。  
360度すべて利用……
- ・ 唯一の照明である火を利用。
- ・ 明るく、力強い演技は火に向って。

- ・ 暗い、弱さを表現する時は、陰を利用。
- ・ 劇中でも火に対する不敬な態度は慎しむ。

### ◎動作とセリフ

- ・ 出演者と観客が火を中心にして呼吸があうように。
- ・ 無理に笑わせない。ユーモアと下品なふざけを混同しない。
- ・ 長々しいセリフのやりとりよりも、むしろパントマイムの方が判りやすく、観客が集中する。
- ・ 動作は大きく、表現は豊かに、想像の中で5感の使い分けをする。★・見・聞・触・味・臭・★
- ・ 感情を思いきり外に出す。



★・喜び・おかしさ・悲しみ・おそれ・驚き  
怒り等・★

### ★ 歌 と ゲ ー ム に つ い て ★

營火をさわやかなまどいの場とし、楽しさの中から親しい友情と情操を育てて行くには、指導者各自の指導（演出・協力）もさることながら、エールマスターの手腕に負うところが多い。營火を効果的に演出しようとするエールマスターにとって、キャンプ・ファイアーでの歌とゲームは大切なものとなる。

## 1) 営火の歌

### ① 皆で楽しく歌う

- ・明るく健康的で誰もが気持ちよくうたえる歌を皆で歌う。  
又、全員が気持ちよく聞ける歌を楽しもうたいたい。
- ・キャンプ・ファイヤーの歌はどんな歌でもよい。ただ、個人が勝手気ままに歌うことは許されない。
- ・皆の知っている歌は参加者全員で歌える。又、皆で出来る合唱、輪唱、動作のつく歌などは営火の歌としてふさわしい。
- ・日本、外国を問わず、民謡、青少年の歌、童謡、子供のころの歌、山や海の歌、ハイキング、ピクニック、キャンプの歌など、プログラムに盛り込みたい。

### ② 営火に適した歌

- ・上品なもの、美しいもの、芸術的なのがよい。歌詞や曲の低級な卑俗なものは避けたい。
- ・どこまでも、音楽的表現を念頭におくこと。
- ・無邪気なものはよいが、あまりに幼稚なものは好感がもてない。
- ・無理をした不似合な替え歌は不愉快になる。

### ③ 営火は音楽教室ではない

- ・新しい歌を教える場としてはふさわしくない。あらかじめ

歌を練習しておき、決して、お座なりな何んでも歌えはよいのだ。と言うような歌い方は望ましくない。

- ・楽しく声のそろった歌はうたう方も、聞く方も快よく楽しいものである。もし、歌詞や曲に自信がない場合は、同調できれば、拍手かハミングで調和する。

## ◎ 楽しい雰囲気を作る

- ・キャンプファイアーの歌は楽しくうたおうとする皆の気持ちと、それをリードしてゆくスタッフの腕によって生きてくる。
- ・楽器は既製のものもよいが、手拍子だとか、薪や竹をたたいて伴奏するのも効果がある。

## 2) 営火でのゲーム

### ◎ ゲームのねらい



- ・全員の心を一つにする。
- ・一つの営火を見つめ、皆が参加している意識を持ち、心を一つにする。
- ・個人的ゲームより全体的ゲームを中心に考え、競争意識の強くなるゲームは避ける。
- ・皆が一語にできる、人数制限のないゲームを準備する。
- ・楽しいムードを作る
- ・楽しいゲーム、おかしいゲームなど全員でできる楽しく愉快なゲーム。
- ・歌が入ったゲーム、心理ゲーム、クイズゲームなど楽し



く興味深いもの。

・プログラムに変化を与える

- ・踊りや、歌の後、静けさを取りもどすのに、多少頭を使うゲームを入れたりすると全体のムードが変化し、プログラムに変化を与えることができる。

◎ 営火に適したゲーム

・座っていてもできるゲーム

- ・隊とか班のキャンプファイヤーでは普通円形に座り、照明はファイヤーのみという事を考え、営火のまわりをあまりはげしく動きまわるようなゲームはさける。

- ・自分の席を離れずに座ってできるゲームを準備しておく。

・簡単なゲーム

- ・ゲームが中心の営火でないかぎり、あまりルールの複雑なものはさけ、簡単なルールで、スタッフのちょっとした説明で実施できるものを選ぶ。

・短時間のゲーム

- ・長時間になるものは不適當である。時間的にも融通性のあるものがよい。

・自然環境を利用したゲーム

- ・営火の光を度外視するようなゲームはさける。逆に薄暗く照明が一つであることを利用したゲームを考える。

- ・野外で、夜であることを利用したゲーム。

## ★ 踊りについて ★

私たち人間は、大古の昔から踊りや歌とは深いつながりがあります。人々はその生活の中で、つらさや、楽しさ、そして自然への感謝の表現の方法として、唄い、踊ったのでしょ  
う。現在でも民謡や盆踊り等が盛んに行われています。又、  
今まで行われていなかった新興住宅地や、団地でも復活の兆  
しが見られるようです。これらも、人間が本来持っている本  
能のあらわれでしょう。

東京に古くから伝わっている江戸里  
神楽を例にとってみますと、主題とし  
て、神話やおとぎ話が使われていま  
す。そこにはストーリーがあり、舞  
ひ手の顔や手足、体を充分に使った  
表情が個性豊かにおもしろおかしく表現されています。



営火における踊りは、班（組）長の個性を発揮する良い方  
法であり、創造性を育て豊かにすることができます。

班（組）で、歌に振り付けに協力して考え、工夫し、苦心  
して完成させた時の喜び、多勢の仲間から好評を得た時の楽  
しき、喜しさは計り知れないものがあります。そして、スカ  
ウト同志、班員と班長との信頼関係をより一層深めることが  
できるでしょう。

1) 踊りとして考えられるもの

- ・民謡等に振り付けをしたもの
- ・インディアンの踊り。

— インディアン・ダンス —

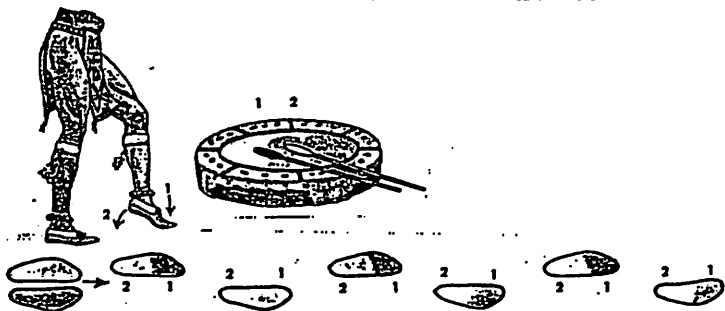


(つまさき・かがとステップ)

- ..動作..
- 1 左足を前に進め、つまさきで立つ
  - 2 かがとを落して床に左足をつける
  - 3 右足を前に進め、つまさきで立つ
  - 4 かがとを落して床に右足をつける
  - 5 同様にして太鼓の音に合わせて動をくりかえす



- ..太鼓のリズム.. 2拍子で、/ 拍目を強く打つ



- ・世界各地の踊（東南アジア・アフリカ等）
- ・ゲームソング（手拍子や動作をつけた歌）
- ・フォークダンス
- ・レクリエーションダンス……等々

## 2) 踊りに関する留意点

- ・みんなが楽しく踊れるものであること。
- ・動作が簡単で、すぐ覚えられるもの。
- ・軽快なリズムで、歌いながら踊れるもの、
- ・営火の場で、むずかしい踊を教えようとしなない。
- ・踊りを教える時は、最初に踊ってみせる。
- ・小道具を工夫して利用するのもよい。
- ・表現を豊かにする工夫と指導が必要。
- ・理論的に指導するのではなく、感覚的な面に重点を置く。

## ★ その他の出しもの ★

営火の演出をより効果的にするために、又、室内での営火の場合、あるいは広く隊集会の出しものとして人形劇なども利用することができる。

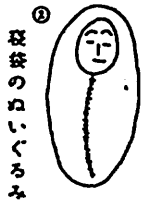
### 1) 人形劇の種類

- ・指の操作で動かす指人形。

- ・ 全身を人形の様に衣服で包む。ぬいぐるみ人形
- ・ 糸の操作で動かすマリオネット。
- ・ 動きを描いた絵によって行う (ペーパーサート)
- ・ 動きを切り抜き、シルエットで行う影絵。
- ・ 仮面劇 (お面)
- ・ その他・手袋人形、びん人形、野菜人形、棒人形・等々



① 指人形



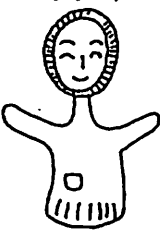
② 寝袋のぬいぐるみ



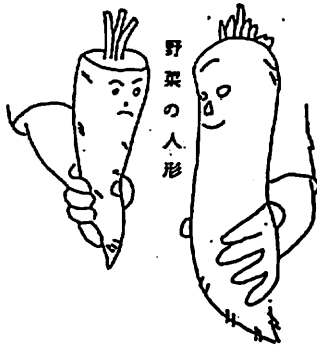
③ (手や足にも糸をつけて、多くの動きができる)

マリオネット

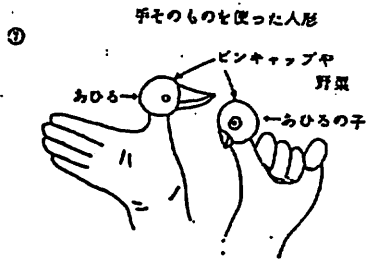
人間を人形に見立てて、人形よりにしても面白い



④ 手手の人形



野菜の人形



⑤ 手そのものを使った人形

あひる

ビンキュップや野菜

あひるの子

2) 營火の演出をより効果的にできる人形劇

- ◎・・・營火で使えるもの……………A. ぬいぐるみ人形  
B. 仮面  
C. 人間のマリオネット
- ◎・・・室内營火で使えるもの……A. 指人形  
B. 影絵  
C. マリオネット  
D. その他
- ◎・・・隊集会で使えるもの……………A. 指人形  
B. ペープサート  
C. マリオネット  
D. 影絵  
E. その他ほとんどの人形劇

3) 人形劇演出の留意点

- ・普通、人形劇をする場合は一方向から観劇をする。そして、ぬいぐるみ人形を除いて人形を操作する者は姿を見せずかくれている部分が必要になる。しかし、營火の場は円形なので舞台設定を工夫する。

- A. 操作する者の体を利用する。
- B. 見ている者、あるいは人垣を利用する。
- C. 操作する者は歩きながら、營火の光の当る処と暗い処を利用する。
- D. 操作する者は黒子の要領で見えてはいけない部分を無視して行う。

- ・せりふは簡潔で、リズムカルであること。  
せりふと動作が合っていること。
- ・細かい動きでは見えにくいので大きな動作をする。
- ・ペープサートや影絵では、人形劇の舞台から操作する者の姿が見えないようにする。
- ・照明の強弱、影の効果などを重視する。
- ・空想的なもの、マジック的なもの、超人的なものなどを取り入れた演出も楽しい。



人形は人間のように自由に動作のできるものではない。しかし、逆に人間にできない動作を表現することができる。

空想的な世界や象徴的な世界を比較的簡単に表現できるし、マジックを応用したテクニック等で超人間的な演出など普通の舞台劇に比べるとずっと広範囲にわたって表現できる。

人形劇は子供たちの想像力、創作力を高めると共に、手先の器用な日本人には特に似つかわしい小芸能です。

営火や隊集会等にも工夫次第では大きな効果をあげることができます。大いに活用してください。



- ・ 平和、友情、騎士道、人命救助等の尊さ。
- ・ ちかい おきての理解。
- ・ 神、仏、保護者、その他の恩人への感謝や、報恩の奉仕の尊さ。
- ・ 健康や、真の幸福について。
- ・ 宗教的情操。
- ・ 自然の美しさと、その大切さ。
- ・ その他、種々の訓話やなつかしい話。  
(生活指導・希望と自信をもたせるもの・奨励するもの等々)
- ・ 連続物語的話し (一泊以上のキャンプで、自然・冒険・文学などの作品から話す)

## 2, スカウト技能に興味を起させる (失敗談も入れて)

- ・ 観察、推理、面白い例をあげて追跡とか、しのび奇りの話をする。
- ・ キャンプで翌日のプログラムに関連して、例えば開拓で橋作りならば、それらについて面白い例話をしてやる。
- ・ キャンプその他の野外活動、のすべてが対象になる。

## 3, 講 評

/ 日の講評、ハイキングの講評、活動の講評

★・・夜話のために日ごろから心がけておくこと

- ・ 関連のありそうな話題の記事をスクラップしておく。



キャンプファイアの種類を問わず、夜話を必ず入れることが望ましい。B-Pはブラウンシー島のキャンプ報告の中で「理論的知識を教えるには、キャンプファイアの周りに坐っている時できるだけ多くの事例をあげながら、少しずつ教えるのが一番良い方法であることを我々は発見した。」と述べている。

隊長とスカウトが心を触れ合い、感動的な話によって宗教的な情操を育て、スカウト精神の指導をし、例をあげて所作などを交えた面白い話によってスカウト技能などの指導を行うと効果的である。

### 1, 夜話として考えられるもの

#### 1) 感動的な話による精神的指導

感動とは、きれいなものにふれて「きれいだなあ」と思

うことである。この世の中で一番き

れいなものは人の愛であるし、その愛の一番深いしるしは、他人の幸福のために己が犠牲になることである。従って一番人を感動させるのは、他人のために己を犠牲にすることであり、それらの話によって心琴にふれさせることであろう。



- ・自分の体験の中から使えるものをメモしておく。
- ・S. F. B の夜話集からヒントを得る。
- ・自分の心琴に触れたことや、話題は書き留めておく。
- ・自分だけの夜話集を作る。

#### ★夜話をするについての留意事項

- ・いつの場合でも、スカウトに話しかけるようにする。説教調、演説調、講義調は好ましくない。
- ・どんな内容のものであっても、和やかであること。
- ・夜話の内容によって、キャンプファイアのプログラムの中で、どう取り扱うかを決める。

◎精神的指導のものは最後の方がよい。

◎講評などは、前半に済ませた方がよい。

◎技能的な内容のものは、これを中心としたプログラムでもよい。

- ・夜話の内容と火の勢についても留意する。

◎しみりした内容、感動的な話では、ほとんど炎のない方がよい。

◎講評や、動作を見せたり、愉快的な話の時は強い炎の方がよい。

- ・長時間にならぬこと、精神的指導のものは、せいぜい3～5分まで。
- ・隊長の心を伝える最も効果的な場として、充分に活用する。